京城日報

本紙定價　一ケ月金八十錢……　廣告料金……　發行兼編輯人 奧田直　印刷人 小川三之介　發行所 京城府……京城日報社　[illegible]

十月二十四日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇對大統領回答と伯林國王會議
宰相條件屈服提議

倫敦來電＝ウイルソン大統領に對する獨逸の最後回答は伯林に於て開會せられたる國王會議に於て決定せられたりルーデンドルフ將軍は獨帝を始め聯邦國王の面前に於て「獨逸は玆數週間を出でずして聯合軍よりの襲擊せらるべき形勢にあり」と謂ひマックス宰相は「戰爭は直に中止せざるべからず」と斷言したり次に巴威國王はルーデンドルフ將軍を嘲笑しオルデンベルグ王は「重大なる責任は獨帝の双肩に懸れり」と宣言しエッセン大公は政治上の宣言に干渉を加ふることを拒絕せり最後にマックス宰相は米國大統領の條件に服することを提議し以て相互に離諸するの恐を止めしめたり（東京特電）

◇未だ以て讓步屈服と見る可からず
米大統領今後の態度

外電に依りて報ぜられたる獨逸政府の米國大統領に對する回答は聯合通信社の探知したるものにて米國政府が正式に接手したるものを發表したるものに非ず而して回答の要旨は第一は前回同樣撤兵を以て軍事委員會の基礎とすべきことを繰返したるものにして第二は潛海軍の暴行に就き辯解せるものなるも右は全然强辯にて水掛論たるを免れず但し潛水艇の非行に關しては今後或は潛水艇戰を中止すべく既に各方面に歸港を命じたるに非ずやと思惟せらるゝ節あり第三の政府問題に關しては要するにウ井ルソン大統領がマウントヴァノンに於て爲せる演說中に列擧したるものに答ふるものにして憲法を改正し宣戰講和の權限を帝國議會に附與する等大いに民主的色彩を濃厚ならしめたるを陳述せるものなり大體に於て今回の回答は稍々ウ井ルソン氏の意見に接近しつゝあるものゝ如くなるも未だ決して屈服又は讓步と見るべからず從つて該回答が米國に於て承認せらるゝや否や疑問にしてウ井ルソン大統領が是を斷然拒絕するか或は更に英佛其の他聯合國に通牒し改めて聯合國側の協定に附することゝなるや遽に判ずべからずと三外交通は語れり（東京特電）

◇匈牙利講和焦慮

巴所著電＝十月十八日匈牙利議會に於てチッツァは今回の戰爭には到底勝利の見込みなきを以て此の狀況に應ずる條件を以て講和す可しと述べたるがフォッシェーッアイフンク紙報道に據れば匈牙利は其領土を保全する爲め單獨講和を辭せざる可しと維也納にて觀測さる旨を傳へり（東京特電）

◇九博士講和條件
＝二十三日發表＝

中村進午、戶水寬人、添田壽一、寺尾亨氏等の九博士は過般來講和條件に關し研究を重ねたる結果二十三日高橋博士より其意見を發表したるが右講和條件の大要左の如し

第一、既往問題、戰爭原因研究並に損害賠償

第二、將來の問題即ち永久平和保障

の二項に分ち第一に對する意見の發表は詳述を避けたるも第二に關しては所謂緩衝國の設置を必要とし四緩衝國を設くべきことを主張し居れり其第一は白耳義より瑞西に至る區間に聯合又は獨立せる中立國を造り以て獨佛間の接觸を緩和する障壁を作ると第二はアドリヤチック海と黑海とを橫斷する地方に獨逸の南進を阻止する堤防を築くことゝ第三波蘭を獨立せしめチェック族をしてボヘミヤ獨立國を建設せしめ更に北方波羅的海沿岸露領を聯結する地方に一獨立國を設け獨勢の東侵に對する堤防たらしむること第四西伯利を獨立國とし其國力を擁護し是を以て極東平和を維持するの保障たらしむることなり（東京特電）

◇敵襲來哥兵擊退
―我討伐軍急行―

軍司令部發表＝十八日黑龍鐵道枝線ジョンスリードナヤプリヤ停車場附近に敵五百襲來し該地を守備せし哥薩克兵を擊退せりとの報ありブラゴエチエンスクの我軍は步兵一部隊及び裝甲列車を該方面に派遣せしが到着前敵は退散せり尙黑龍線モゴーチヤ驛西北二十餘里のドウン附近に[illegible]を探知し十七日ネルチンスクの我軍は討伐の爲め一部隊を派遣せり（浦鹽…報）

◇聯合軍大勝利
英軍デネーン占領

聯合軍は和蘭國境よりミーズに至る全線に亘りて偉大なる勝利を博せり白耳義軍はブルーヂ、ジーブルデ及び和蘭に達する全海岸線を占領しブルーヂの後方に突進しガン（一國…）に至る中間にあり中央軍の爲に一時掃蕩せられし英軍はデ子ーンを占領しセル河の南方なる佛軍第十軍は殆ど三哩餘に亘りフーデング線を突破せり（巴里電報）

◇白國沿岸と聯軍

巴所著電＝白耳義海岸地方一帶聯合軍の手に歸し白國の騎兵は既に和蘭國境に達したるより蘭國在留の白國人にして歸國を急ぐ者多きも交通機關の缺如軍隊行動の障碍及び食糧品の缺乏等の事情に依り俄かに歸國する能はざるものゝ如く依つて白國公使館より同國人に對し論告を發し居れり尙白國よりは既に第一回の避難民約五百名蘭國に入り來りたる由なり（東京特電）

◇墺國チェック族と食糧

墺國に於てタローカはチェック代表者に對し皇帝の詔勅に從ふ可き事糧食品の輸出を許す可き事を從慂したるがチェックにして糧食を供給せざるに於ては十一月には國內獨逸人は全く糧食品の缺乏を來す可しと（東京特電）

◇辭令

二十四日左の通り辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府土地調査局監査官 山室董三郎

陞敍高等官七等

◉英米妥協斡旋
我政府考量中

支那南北の紛爭は遂に重大なる國際問題となり來るべき模樣なり即ち英米兩國が支那現下の妥協氣運に乘じ調停に意あるは既報の如くなるが兩國は

▲著々として 其步を進めつゝあり一方支那政府は政治顧問モリソン氏を廣東に派遣し南方諸領袖と會見其意見を聽取せしめて調停案作製に便すると同時に他方帝國に對し英國政府主となり共に調停の行動に出づべく交渉し來れり之に對し政府にては內田外相の聲明せるが如く支那の統一は勿論希望する所なれば主義に於ては同意の次第なるも具體的手段を執る事に就ては研究の必要ありとし目下愼重に考量中の趣なるが英米兩國は若し帝國が不同意なるに於ては單獨にても之を試んとする模樣なる

▲如し 此の如く此問題は目下懸案中なれば英米が今迄に帝國を出し拔きて

▲支那に警告 せる事はなく又た兩國とも未だ確乎たる妥協案は有せざるものゝ如し之に對する支那側の態度を見るに目下妥協運動の中心なる梁士詒氏は列國の好意は感謝に堪へざるも外國の援助ありとせられては却て都合惡く自分等に於て充分南方に對する自信あれば暫く傍觀せられたしと稱し居る趣なるが段派主戰論者は列强の希望妥協に集中せるを見て一層軟化し屏息せるものゝ如く殊に最も注意すべきは南北一部の官民中に此際寧ろ米國に依賴せよとの論をなす者多き事なり（東京特電）

◉總督普校視察

長谷川總督は二十四日午後二時村田武官齋藤大島兩副官神田秘書官等を隨へ淑明女子高等普通學校に赴き同校を視察せり

◉位記傳達式

二十四日午前十時總督府總督室に於て敍位傳達式を擧行し村田武官、齋藤大島兩副官神田秘書官、久芳人事課長等參列の上長谷川總督より夫々頭書の位記を傳達せり

從四位 中樞院顧問 男爵 韓昌洙

從四位 同 男爵 李根湘

◉西伯利亞の救濟
朝野の奮勵努力を要す
鮮銀調査課長 井内勇氏談

北滿並に西伯利方面に久しく出張しゐたる鮮銀調査局長井内勇氏の談に曰く

▲軍票と鮮銀券 藤井中將の率ゆる第七師團の司令部は滿洲里に駐屯し大庭中將麾下の第三師團司令部はチタに本據を据ゑてゐる、予のチタを訪うたのは本月の上旬、司令部の移動後數日に過ぎず極めて混沌の狀態であつた滿洲里並にチタ共鮮銀は出征軍の關係上出張員を派出し兩師團との連絡を執つてゐるが軍票並に鮮銀券に對する北滿並に西伯利一帶の氣受けは頗るよい、チタは詳細の狀況を未だ知り得ぬけれど滿洲里に於ける吾が軍隊は鮮銀券並に軍票の支出によつて露人並に支那人よりする物資の購入は何の不自由もなく第七師團司令部では留の必要は全くないと云つてゐる

▲鐵道と通信 十月初め予のチタを訪ひたる時既に同地は今日に近い殷賑を示してゐた、今後の繁榮さを想像して出征軍の諸君の非常ならざるを思ふ、然し吾第三第七第十二此の三個師團の活動により西伯利並に北滿の鐵道沿線は全く平穩に歸し秩序も漸次整つて來た、その努力と功果は偉大なものである、露人中には今日西伯利方面の平穩を露人自身の力なるかの如く誤解せるものもあるが大多數の露國人は素より我國に對し大なる感謝の意を表し好感を有つてゐる唯秩序は整つたけれど尙ほ交通機關と通信狀態は殆ど混沌たるものがあり事實お話にならぬやうである、露國各鐵道を吾が管理の下に置き適當の通信機關を急設せよとは在西伯利並に北滿邦人の活動上焦眉の問題でありその希望は有力であると稱しても差支なからう

▲經濟援助 西伯利の內地に入ると物資の缺乏は非常に甚だしい、チタの如き物資缺乏價格昂騰のため食料品は切符制度にしてゐるが此の物資窮乏を救濟するには吾國の西伯利財政經濟援助的の活動は刻下の急務であり、此際大いに突進せねばならぬと信ずる、三師團でもその好時機である第三師團ではチタ市に供給しつゝあるやうの話を聞いたが此の方面の援助活動を十分にするには前述の如く交通通信機關の整備を必要とするのは勿論であるし而して事業的發展的の振興策を講ずると云ふ段取りになるべきものであらう

▲齒痒き感 日本では西伯利活動を必要とするの議論は頗る高いのであるが實際にどれ程まで手をつけてゐるか西伯利に行つてみると齒痒くてならぬ事が少くない、數萬の兵を動かし秩序の恢復は努力したがその後の進出は果して如何、申し譯的に出兵をした後に著々としてやられるやうの事があるのではないか、現に予はチタの商業會議所頭と會見した時頭の曰く日本に商品の註文もしたいと思ふが如何なる品物がありドンなものが出來、何地に註文して好いか全然分からない、然るに米國からは早くも斯く斯くの商品をこれ〳〵の値段で何地の何商會で十分調達し得るなどと云ふ通知をして呉れると話て居たが一事は萬事で米國の有力商店の活動は實際ヌケ目がない吾國有力商店並に當局者の深甚なる注意を促さざらんと欲するも得ない

▲哈市の活氣 ハルビンは人の出入も多く活氣もあつた、日本も東拓等の活動で電氣を手に入れ水道電車その他の事業界に活動せんとしつゝあるが米國も[illegible]社を露人より占得しその他の方面に活動して吾が勢力の同方面に對する關係上全く油斷のならぬ狀態にあるやうだ

◉林野調査施行規則改正

朝鮮林野調査施行規則中一部改正の府令は二十五日發布さるべく右改正の要旨は現行朝鮮林野調査施行規則に於ては林野內に介在する林野以外の土地にして土地調査令に依り調査及び測量を爲さざりしものに就いては調査に關する何等規定する處なかりしを以て今回これが改正を行ひ土地調査令に據る調査と相俟つて林野調査の目的を完成せしめんとするに在りと

從四位 男爵 中樞院贊議 閔商鎬

從四位 同 顧問 閔泳綺

從四位 男爵 贊議 南奎熙

從四位 同 朴勝鳳

從四位 同 劉猛

從四位 同 柳正秀

從四位 同 金榮漢

從四位 同 李建春

從七位 總督府技師 牧山正德

從七位 同 醫官 桐原眞一

◉總督府官吏臨時手當支給

總督府及び所屬官署奏任官以下に對する臨時手當支給規則は二十四日總督府訓令を以て發布されたるが右は休職者を除き奏任官及び同等の待遇を受くる者は本俸年額九百圓以上の者は（一）本俸年額の百分の二十五（二）本俸年額九百圓未滿の者は本俸年額百分の四十の臨時手當を受くる事となり判任官及び判任官待遇を受くる者は俸給月額百五十圓以上は二十二圓、百圓以上は二十圓、六十五圓以上は十八圓、五十圓以上は十六圓、四十圓以上は十五圓、三十五圓以上は十三圓五十錢、三十圓以上は十二圓、二十五圓以上は十圓五十錢、二十圓以上は九圓、七圓以上は三圓、五圓以上は八圓、十二圓未滿は七圓五十錢、…四圓以上は三圓、三圓以上は二圓五十錢、三圓未滿は一圓五十錢、雇員傭人の月額を以て給料を支給せらるゝ者にありては手當の月額其の他にありては本俸及び加俸を合せたる額の月額と稱するは郵便所長にありては手當の月額三圓以上は六十六錢、一圓二十錢以上は六十錢、一圓七十錢以上は五十五錢、一圓三十五錢以上は五十錢、一圓十五錢以上は四十四錢、一圓以上は四十錢、八十三錢以上は三十二錢、五十錢以上は二十七錢、四十錢以上は二十錢、三十五錢以上は十七錢、二十五錢以上は十三錢、二十錢以上は十二錢、十三錢以上は八錢、十錢以上は七錢、十錢未滿は五錢、三錢以上は七錢、十錢以上は五錢、十錢未滿は三錢として年末又は年度末に於ては得宜時手當の增加を行ふ事を得本年九月分より適用する事となり同時に從前の臨時手當は之を廢止する事となれり

◉自防浦の開墾
東拓の計畫

六七年前東洋拓殖會社より總督府に出願したる全羅南道務安郡自防浦の干潟地三百餘町の開墾は此程當局より許可の指令に接したるが會社にては目下同許可書の附帶條件に對し調査の步を進め該調査終了次第前年計畫せし施行設計に幾分の改善を行ひ多分明春より工事に著手すべきが自防浦の干潟地は塩分極めて稀薄にしてその開墾の初年より灌漑だに十分ならば直に收穫の見込みある持色あり普通干潟地の如く六七年以上を塩分の洗出に要する[illegible]ざるは頗る有利の點なるに似たり而して工事の豫定は大正八年春期に於て約百町步の埋築に成功し明年直ちに同面積の挿秧を行ひ得べく再來年に至れば殘餘二百町步の作付可能の見込なり尙ほ工費は約十二萬圓の豫定にて該土地は木浦に近く溫暖なるを以て開墾成功後は移民の收容地として最も適すべしと稱し

♪鮮銀の出版

朝鮮銀行調査局にては『西伯利經濟事情』並に『埃及國立銀行及び埃及農業銀行』の二冊子を刊行し主なる向に配付したり

◉釜屋少將出發

第二水雷戰隊司令官に榮轉せる釜屋海軍少將は二十四日午前八時四十分南大門驛發任地へ向け出發せるが驛には宇佐美鈴木兩長官、佐藤軍醫監、森安警代、寺元川村、三島殖銀頭取、久保滿鐵局長、蘆納鮮銀副總裁其他官民の見送りありき

◉宇佐美局長下仁

宇佐美土木局長及び坂出土木局技師は[illegible]列車にて仁川築港視察の爲め下仁午後六時三十分歸京せり

◉三井重役日程

來鮮目的如何

三井合名會社理事長團琢磨博士三井銀行常務米山梅吉氏並に合名會社の玉木調査課長の一行は二十四日午後九時十分南大門驛着入京すべきがその日程は二十五日各方面訪問挨拶同夜朝鮮ホテルに官民有力者招待張宴二十六日京城並に近郊視察同夜長谷川總督の招宴に列し二十七日午前九時五十分南大門驛發並二浦製鐵所を視察の上平壤に一泊二十八日鎭南浦に於る北海製鐵會社支店の事務を視察義州に一泊二十九日滿洲より支那に入る豫定なるが團博士米山常務共始めての入鮮にて付尾野三井支店長は義州まで同行すべし尙ほ一行の用向は支那視察の序を以て朝鮮を經由するもの・如く特別に朝鮮に於て何等か計畫を有するためには非ざる如きも何分團氏は三井王國の首相格の人なればその視察の結果如何は三井の對鮮經營その他に就て極めて重要なるべしと稱せられつゝあり又米山氏は本邦金融界の花形にして主として金融方面を視察するにありと

◉石塚總裁來鮮

石塚東拓總裁は針貝參事を隨へ滿洲視察に向ふため二十四日午後九時十分南大門驛著入京朝鮮ホテルに投宿すべく京城滯在は二三日ならんと

◉原田朝郵會長消息

朝鮮郵船取締役會長原田金之祐氏は來る三十日同社樓上に開かるべき株主總會列席のため來鮮の筈なりしも日本郵船社務の關係上その離任を許さざる由にて今回は入鮮せざるべく十二月頃來鮮の豫定なりと

人事消息

▲清水武紀氏（總督府稅務課長）二十四日西大門三日間の豫定にて平壤へ出張を命ぜらる

▲森八太郞氏（土木局釜山出張所長）二十日附七日間の豫定にて黃海道管內へ出張を命ぜらる

▲宇都宮寬次郞氏（遞信技師）二十二日附十二日間の豫定にて安東縣へ出張を命ぜらる

▲河野八氏（遞信技師）廿二日附廿八日間の豫定にて神戶へ出張を命ぜらる

▲菅盛次郞氏（東亞煙草社長）二十四日釜山上陸一泊（釜山）

▲平野亮平氏（專賣局參事）同上（釜山）

▲橋本秀人氏（殖木公司技師）二十四日朝釜山上陸北行（釜山）

▲加藤房藏氏（本社長）廿四日朝出發西鮮方面へ

▲長野辰次郞氏（三井物產員）廿四日朝入京天眞樓へ

茶前酒後

◆十月十四日附米國大統領の通牒に對し、獨逸は軍事上、並に憲法上の諸條件に關し、完全なる承諾の形式を以て、米國政府に回答すべしとは、英國の獨逸回答觀なりし也。

◆然るに獨逸が、十月二十二日附を以て、米國大統領に發せし回答は、[illegible]に於ては、撤兵は勿論、戰目前の達成のみの如く、潛航戰に於ては、過去の事實を無視し、憲法上に於ても、米國大統領の希望に、稍近づきたる迄の事にて、其誠意を缺く處多く、到底米國の之に對する觀測は、見事に當てはづれたれり。米國大統領たるもの、此の回答に對しても亦、一言なかるべからざる也。米國大統領が、如何國に對してなしたる回答は、近來の痛快事なりき、獨逸に向つては果して奈何。

◆ヒンデンブルグ等が既に民主々義に豹變して、頻りに平和を唱へ、今や獨逸國內は、非戰爭派を以て、充滿せられんとせるかの如き報道あるも、其事實は、甚だ疑はざるを得ざる也。

◆最近の獨逸諸新聞は、筆を揃へて、屈辱的講和を結ぶよりも、寧ろ最後迄戰爭を繼續せよと盛んに硬論を唱へ、就中過激なる新聞は、米國大統領の反撥的回答を以て、口を正義に藉りたる僞善者と罵り、理不盡の威嚇に依て、外交問題の解決を迫る者也と、痛論罷り或者は、米國大統領の今回の發言は、第一回覺書に依りて生じたる平和の望みに、冷水を注げるもなりと、悲觀するもあれば、米國大統領の言辭を以て、傲岸にして、侮辱せる者なりと怒れる者もあり

◆獨逸國內に於ける、輿論が、斯の如しとせば、獨逸が無條件降服等の如きは、未だ思ひも寄らざる、勝者の一個の想像たりとも見るを得べく。果して然りとせば、獨逸が無條件降服を聲明せんか、對外意嚮は或は打ち切り得べしとも、對內政策上に、一大故障を生ずべきは勿論也。要するに獨逸の如何に拘はらず、我聯合軍は、今日此の際、馬を伯林城頭に進むるにあり。然り聯合軍は伯林へ、の一語を實行するにあるのみ。

日本亞砒酸工業株式會社 株式募集

一、本邦唯一の工業會社
本社が將來製出せんとする亞砒酸は藥料として勿論工業用として硝子原料、製絲用、毛皮の精製、油脂漂白、農業用其他各般の防腐殺蟲殺菌等には絕對的必需品として多大の需給額を計示せり之れ亞砒酸株式會社を設立し以て其利の增進に資せんとする所以なり

二、亞砒酸の販路
歐米諸國は勿論滿洲、支那、印度方面に於ける現在の需要頗る增加し製產能力の弱き本邦に對しても永久的供給契約の締結を希望する者續出するの狀況なれば堅實有利の事業たる疑なし

三、豫定の利益
本社の企畫は現在及將來に於て最も有利有望なる事業にして現在多大の利益を上げつゝある山口縣富崎に於て事業中の個人經營を買收し同時に多大の利益を收め得べく其第一期決算には優に五割の配當を爲し得べきを確信す

四、事業の特長
現在の採掘鑛區及將來採掘せんとする鑛區は砒鑛を加ふるに採鑛精鍊に精巧なる技術者が製錬したる良質無比の優秀品にして從來三井物產株式會社、鈴木商店、神東會社、湯淺商店等に販賣し其の會社商店等は勿論外國貿易に從事する內外の需要を爲す本事業の有望なるを知るべく且つ未成立の本社に購入を申込み來るもの續出する誇大の計畫會社と全く其の趣を異にす

五、有望なる戰後の事業
化學工業の進步に伴ひ亞砒酸の用途愈々增加し世界の市場は之れが供給に苦みつゝあり本邦に於て優良なる品を製出し以て戰後に至るも本社の最も誇りとする處なり且つ有望なる事業は其的用途を以て知るべし

募集要項

一、資本金總額　金壹百萬圓

一、發行株の金額　金五拾圓

一、第一回拂込金　金十二圓五十錢（證據金拂込共）

一、募集株數　三千株（總株數二萬株の內一萬七千株は發起人及贊成人に於て引受）

一、申込株數單位　十株以上

一、申込期限　十月廿一日ヨリ廿七日迄

一、申込證據金　一株に付 金二圓五十錢

一、募入方法　應募株數が募集株數に超過したる時は發起人に於て適宜之を決定す

◉定款目論見書及申込書は取扱銀行又は當創立事務所に備置候間御一報次第進呈す

東京京橋區三十間堀一丁目四番地 電話京橋三七五三

日本亞砒酸工業株式會社

創立委員長 安樂兼道

發起人及贊成人（次第不同）（○印發起人）

東京 ○安樂兼道　同 ○倉橋謙吾　同 ○富岡周藏　同 ○鈴木久次郎　同 ○湯淺儀太郎　同 ○五十嵐秀助　[illegible]

株式申込取扱所

[illegible]

定款及申込書ハ當新聞社ニアリ

大正七年七月一日改正現行　[illegible]

◇秋深し（郊外の此頃）

○堅パンで我慢する 最前線の勇士

明暮戰友と膝突き合せて『病氣で死ぬなよ……』と互ひに警め合うて居る

從軍記者 早川磐溪

第三師團第三十旅團司令部は十二日チタ通過貝加爾湖畔方面に向ふと言ふ事を聞きつけた記者は援助の功名を爲す可く同列車に便乘して日本軍の最前線なるイソワヤに向つた、輸送車は軍用貨物車で何車を見ても

◆壽司詰め 突然飛入をした記者の席はないので止む無く衛兵の乘つてる貨物車の中に便乘する事にした、車內には中央にストーブが赤々と燃えそれを圍んだ衛兵が五六人『彈丸に中つて死ぬなあ好いが惡運くまで來て病氣で死にたくない』と言ふやうな事を語り合つてゐた、聞けば輸送途中二三名

◆風邪が因 で死んだとか午後三時頃發車の筈であつた列車が例に依つて八時間許り遲れて夜の十一時頃發車した、板の上にアンペラを布き雜嚢を枕にして橫はると連日の疲憊困憊で瞼が重るかと思はる、程眠いが車體の動搖が激しいのでとても眠る事に可能ない、それでもいつしか

◆破れ勝ち の夢を結んで、フト眼がさめると夜は明けて、白樺の杜から朝日が躍り出てゐた牧草を積んだ廣い野には無數の牛が放たれてゐる、川柳に蔽はれた小川の流れ落葉松や、椴松の繁つた小山がかぎりなく續いて、四邊の風物が

◆自ら縮を なしてゐるので西伯利を旅行して居るやうには思はれない、午前八時頃クカー驛に着くと下車の喇叭の音が響いたので早速車を飛び降り、水槽へ行つて冷たい水を手拭に浸し、簡單に顏を洗つて朝食を攝つた、牛包布に

◆黑い麥飯 を包み、飯盒に鹽辛い味噌汁を配給されたのだから、單に胃袋を滿たす丈けでとても味つて食べられる代物ではない、晝は副食物のない堅パン夜は麥飯に罐詰、それが毎日同じ事を繰り返されるのだから兵士の苦痛は

◆並大抵で はない、血氣盛りの者も長途を貨車詰めにされた上に極めて粗食に甘んじなければならぬから健康が保たれないのも無理はない、明けても暮ても膝つき合せてゐる戰友と、病氣で死ぬなと警め合つてゐる處を見ると思はず涙が出る

口廢兵院行啓

皇后陛下には廢兵の狀況御覽の爲め二十五日午前十時御出門廢兵院に行啓の旨二十二日仰せ出されしが皇后陛下の同院行啓は今回を以て嚆矢とするを以て同院にては奉迎の準備に忙はし（東京電報）

○佛國から火花 百萬發 註文

煙火製造所に註文し來れり同製造所稻富工場監督は語る『九月七日紐育の代理店を通じて佛國政府から[illegible]十八吋で六吋の煙火に用ふる物です、英國の一商人は一昨年から平和の日を豫想して一萬發の煙[illegible]

[illegible]慌を來して居るが何でも朝鮮銀行では四十人、醫務總部では二十六人と云ふ多數の患者を出して居[illegible]やられたのは警官練習所で百八人中八十人まで倒れた其他總督府醫院では醫者がバタ／＼倒れる看護[illegible]豫防方法も無いではないが此微菌は空氣傳染もする樣で普通の健康體の中にも潛んで居る樣だし一度此[illegible]

○明石臺灣總督から『ミカドキジ』を獻上

英人の名けた美麗な雉子 世界中で臺灣に丈け棲む

臺灣總督府博物館動物採集係の菊地米太郎氏は今度明石臺灣總督の命を受けて自分が苦心して獲つた珍鳥「ミカドキジ」雄二羽と、牝色「サンケイ」雌二羽「ミヤマテツケイ」雌雄各一羽

▽二匹を 長き途りへ獻上したがこの「ミカドキジ」と云ふのは世界中で臺灣の外何處にも居ない珍鳥で明治卅年始めて同島山で發見する迄は生蕃人の外此島の居る事を知つて居た者は一人もなかつた

▽十三年前 英國の鳥類探檢家グードフエロー氏が臺灣に來て、此島の羽を珍らしく思ひ本國の鳥學者グランド氏に送つた。氏も亦非常に珍らしがり、日本に許り居る所から「ミカドキジ」と命名した。大きさは普通の雉子と變らないが、胸から背にかけて

▽瑠璃色で 翼の雨覆の緣は青く、風切りの初列は褐色で其他は黑色を帶びて居る、臺灣でも內地でも生きた「ミカドキジ」を持つて居る人は一人もないと云ふ

○聯邦は豫ての望 之を以て講和の條件と するは押が強よ過ぎる

墺國皇帝は布告して墺國を以て獨逸系墺太利族、チエック族、ユーゴスラブ族、小露族の四國より成る

▽聯邦組織 とする旨を聲明した、之に就て某消息通は語る『元來墺太利には聯邦組織說が行はれてゐたので例の今度の大戰爭の動機となつた皇儲ヘルヂナンドの橫死、彼殺されたヘルヂナンドの如きは墺匈國各民族に自治權を與へ進んでは聯邦組織にしようと云ふ意見を有し或は之を實現しさうな模樣なので此民族を利用して汎スラブ主義を行はうと云ふ野心があつた爲斷として は

▽一大事で ある、異種族の際に乘じて利を得ようとする目的は夫等が自治を得て聯邦となつては遂に其間に策を施す餘地がなくなる其處でセルビヤを使嗾してヘルヂナンドの暗殺と云ふ事になり遂に世界の大戰亂となつたのである……と云ふのは墺國に於ける觀測で、此觀測までもなく事實其內情から云つても各民族の希望理想は既に國家の解體か改造か

▽二者一を 擇ばねばならぬと云ふ處まで來てゐたのである、況んやヘルヂナンドに依つて民は聯邦組織に向ふ運動の端を開かされてゐる、ウィルソン大統領が民族自治主義の叫びに應じて墺匈國が完全に自治體の民族より成る聯邦組織となり、休戰を提唱する前觸として之を布告したと云ふのは以て異とするには當らぬのである、墺太利から云へば

▽之は寧ろ 望む處で、之で以てウィルソン氏が提出した條件に適つて講和が出來るとすれば決して其處に何等の犧牲を拂つたものではないのである、匈牙利こそ聯邦組織には多少反對意見を有してゐるが他は軍備上、政治上獨立よりも聯邦の方を希望してゐるのである、ウィルソン氏が『國民の單純なる自治を講和の基礎條件として承諾する能はず』と云つたのは無理もない話である

○博士になる 植村醫官

加藤子と從兄弟 愛知縣の人で帝大出身の醫學士

今回論文を提出し東大教授會を通過し近く醫學博士となるべき人の中に醫學士植村俊二氏がある植村氏は愛知縣の出身で明治三十八年東大醫科を出た本年四十二歲、子爵加藤高明氏とは從兄弟の關係が

○行方不明の 三島丸

リバープール安着

九月四日南阿ケープタウンを出發したる郵船會社歐洲航路船三島丸（三千九百噸）は出帆後二箇月を經過するも何等消息無かりし爲め一時常陸丸同樣の運命に遭遇したるに非ずやと懸念されしが十月十三日リバプールに安着したる旨二十二日入電ありたり（横濱特電）

○惡性感冒 東京を襲ふ

東京青山師範學校寄宿舍に流行性感冒患者現はれ數十名の生徒感染し尙猖獗の兆あるより府當局は二十三日より一週間學校の閉鎖を命じたり尙小石川女子師範にても百名許りの患者を出し同樣一週間の閉鎖を爲したり（東京特電）

○數百名の日本婦人が 福建省で奴隸生活

支那商人の甘言に釣出されて 絆の支那服から身許が判つた

支那福建省福淸縣は非常に交通不便な爲め殆ど邦人の移住者を見ない位であるが最近臺灣總督府所屬警察官の報告に依つて多數の

▽日本婦人が 居ることが發見された、而も此婦人達は恐く例の支那行商人の甘言に釣出されたものであつて、一度彼等の毒手に罹つて彼の地に渡つてからは殆んど

▽奴隸生活に 甘んじ居なければならぬ、斯うした婦人は同縣下高山市だけで十五名全縣下では二百名以上も有るだらうとの事、此婦人達の日常生活は野仕事炊事或は

▽衣生活なぞ が主で、何れも二年、三年中には子供の五六人も抱へてゐるものもある、言語から動作は純然たる支那婦人、一寸識別が付かぬ中に身に纏つた支那服の絆の綺麗で漸と絆が判明つたと云ふ事である

◇慰問袋◇ 更に五千箇發送

愛國婦人會朝鮮本部では二十三日夕更に慰問袋五千個を發送した寫眞は本部前から發送しようとするところ

○大邱の空から 爆彈投下

共進會中の壯觀 聯隊の飛行機射擊

慶北共進會開會中民間飛行家伊藤音次郎氏が大邱の空にて飛行する事は屢報の如くなるが會期中は唯飛行するのみにあらず空中より爆彈投下の模樣を一般の觀覽に供する事に內定せりこは飛行機が千米突の空中に達したる時石灰を固く包みて投下すれば件の石灰塊は爆音こそ無けれ猛烈なる勢ひを以て地上に落下して白煙濛々宛然實地投下と同樣の壯觀を呈するものなりとなほ此他に大邱聯隊に交涉して聯隊兵士をして大邱の空を飛行する飛行機射擊の演習をも行ひ之れを一般の觀覽に供せんとするの內議あり此爆彈投下及び飛行機射擊演習は空前の一大壯觀を呈すべし

○馬山鮮銀の 行金盜難事件

迷宮に入る 怪しき投書の主は眞の犯人にあらず

本年二月十八日夜朝鮮銀行馬山出張所に何者か忍び入り行金四百三十圓を竊取せられたる事件ありしが該事件は本月二十二日豫審決定せり其の事件の顚末を聞くに鮮銀馬山出張所員金稚鉉が行用を帶びて

▲舊馬山に 出張せし際同地今井經三より同行に預け入るべき金四百三十圓を依托せられ銀行に持ち歸りしも當日は既に五時頃にして行員皆歸宅せし後なりしかば預け入れ手續きを爲す能はず右金員は

▲金庫の中 に仕舞ひ其儘歸宅し翌日該金の紛失し居ることを發見したるが外部より賊の忍び入りたる形跡なきにより內々行員中を詮議中の處所長宛に同行使鄭洪淡に非ずやと訴へたる

▲投書を送り し者ありて取調べの結果該投書の本人は同行小使石原五八（四〇）なること判明し身柄は一件書類と共に檢事局に送られ種々取調べを受けたるも單に前記鮮人小使に罪を被せて解雇なさしめんと計りたる事實を白狀せしのみにて其他は

▲一切否認 したるを以て同人は鄭洪淡に對する業務妨害及び名譽毀損の廉によりて不日公判に廻さるべく茲に於て行金盜難事件は全く迷宮に入りし

○公金橫領

江原道杆城郵便局事務員の公金橫領事件は此程豫審終決せるが犯人は同局事務員にして杆城面新安里成興錫（二二）にして同人が爲替貯金事務取扱中去る八月面里規約貯金二百三十名分合計金百十二圓の中九十八圓を橫領し居たりしものなり

○昌慶苑の菊

日曜が好い見頃 例年より好い出來榮

昌慶苑行きの終點で電車を捨て白銅一つと赤切符と取替へて門を入れば都離れのした別世界、植物館や動物園に足を向ける、お池の邊の淺茅に颯と秋風が吹いて紅葉の時雨を降らす、傾つて來た寒氣のために溫室に食はず嫌炭が山と積まれてある、その中を上がつて菊畑に行くと大輪、小輪色とり／＼に數千株、中には名ある御族方の名札が立てられた秘藏の花も澤山ある、その中には狂ひ咲きの獅子目の中にも入れられさうな小米花など逸品が處せまく咲き滿ちて居る、菊の秋、菊の天地を出現して居る、未だ全部は咲き揃つては居ないが例年よりも好い出來榮は二十六七日の土曜、日曜頃は丁度見頃であらう、坊ちやん孃ちやん連れの御夫婦が菊の花見てお辨當を開いて居た（一記者）

◉黑龍江州の露人の家

丸太造りで家根は紅殼色 頰冠りした若い娘が家鴨や鵞鳥を追ふ姿も見ゆる

黑龍沿道沿線の家はみな丸木造りの木造殿屋根は紅殼に壁は黃色に塗つた建物で四角に木柵が圍むである、先づ家に這入れば中にまた毛皮を張つた扉があり、巨きな扉を排して家に訪へば宗教的の畫像とか家族の寫眞をならべてある、嬉々有つた家などはバラライカを鳴らして居る、隣室の炊事場は廣い煉瓦の竈、焚火はそのまゝ暖爐を通つて室內を暖める、竈の上にはスープの鍋や湯を沸しながら傍らの卓子にはサモワルや湯呑みが見える、それにまた室の一隅には日本の神棚の如きマリアの畫像が掲げ復活祭に供へた紅白の鷄卵も面白い、また窓口には色鮮やかな草花の鉢植、糸で吊られた唐辛の紅いのも繪のやうである、畑の日向葵草も霜枯たがそれでも可愛らしい秋草の花、それに頰冠りした若い娘が家鴨や鵞鳥を追ふ姿も見ゆる、冬の用意にとて積み重ねられた白樺の薪木は庭に山を爲して時々豚が日向に遊ぶ、更に屋後の山の秋色を見れば黃、紅、綠、色とり／＼に何うしても水彩畫中のものである（金谷從軍記者）

◉自轉車泥棒

佐賀縣東松浦郡唐津町稻垣芳德（二六）は過日大邱の某商店より自轉車一輛を盜みて京城に來り去る二十三日北米倉町廣田自轉車商方に賣却せんとする所を本町署の手に捕へられたるが身柄は二十四日大邱署に送致せられたり因に同人は家宅侵入及び窃盜の前科を有する曲者なりと

湯氣を吸へ

風邪に罹らない湯屋の三助

口流行性感冒の豫防法

流行性感冒が猛烈な勢ひで傳播して來ました一體此の感冒は空氣が乾燥して北風の強く吹く時流行するのです毎年暮から春へかけて流行するのが例で風の方向に從つて北東の町家から南西の町家へ押し寄せるやうです今年の方向は未だ調べぬが季節としては少し早く流行し始めた事は事實です

▽▽症狀 から云ふと咽喉、消化器、神經系統を犯すのが流行性感冒の特徵であります而して媒介者はインフルエンザ菌、肺炎等の種々の菌があつて學理的に申せば流行性感冒ですが何れにしても皆インフルエンザ菌から起る病氣が同じ容態を呈する傾向がありますから此際一般に注意して欲しいのです特に老人と

▽▽子供 は肺炎を起す恐れがありますから一層注意せねばなりません尤も大概は一週間位で治りますが併し患はないに越した事は勿論ありません豫防法としては皮膚の抵抗力を增す事即ち冷水摩擦をやり始めた人は此際怠らず續けるのです又從來冷水摩擦をした事のない人は成る可く毎日入浴して皮膚を能く洗ひ且つ湯氣を充分吸入する事です彼の湯屋の三助が風邪にかゝらないのは面白い例證ではありませんか次に

▽▽鹽水 で度々含嗽をする事も必要です是れは咽喉に抵抗力を付けると同時に假に有害菌を飲んで居たとしても吐き出して了ふ事になる更に小指の爪を切つて鼻の穴へ兩指を差入れ淸水で洗へば鼻の穴の內皮の抵抗力を增し或は菌を外へ押し出す効があります（芳賀醫官談）

◉高普校運動會

京城高等普通學校に於ては二十五日午前八時より同校運動場に於て秋季運動會を擧行すべし

◉吉岡藏英氏夫人

徵兵保險株式會社京城出張所長吉岡藏英氏夫人タケ子は久しく病氣にて療養中の處二十三日午後十時死去二十五日午後二時自宅に於て葬式執行の筈

仁川期米

▲二十四日後場 大阪前止 [illegible]

▲後場 中限出來不申 先限一節二十六圓五十錢 [illegible]

仁川米豆取引

二十四日の十一月限 [illegible]

天氣

晴

▲十一月二十五日（廿四日午後六時より廿五日午後六時迄）[illegible]

金牌受領 登錄商標

本椿香油 男女頭髮用 本椿ポマード

宮內省御用 華族方御常用之榮を蒙る 九條公爵、其他

毛を黑く長くつやを出し 赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙

本舖 大阪西横堀 三宅堂

新家庭

十一月號の呼び物は……

長田幹彥氏の時雨唄

本號から連載される長篇小說です恐らく長田さんの作の中で一番力の入つたものでせう取扱ひました材料は最近東京某富豪方に起りし家庭悲劇で世人は之れを目して新不如歸と呼んで居ります結婚生活が產み出した近代人の悲痛哀艷極りなき物語です

友達座の貴公子連と其周圍

新家庭の寫眞版は何時も美しいのと新聞價値のあるとで好評を博して居りますが今度は三島彌吉氏邸で催された貴公子達の芝居と其れを見物に來た貴夫人令孃の寫眞を收めました他にも美人の寫眞が澤山あります

東京新名所と京都寫生畫

表紙は田中良氏の東京新名所口繪は水島爾保布氏の京都府立第二高女の寫生口繪は伊東深水氏の彩色二面大

△寶塚少女歌劇の脚本懸賞募集廣告…

△住宅の間取りに就いて……岡田教授

△赤兒を健かに育るには……豐福博士

△臺所科學甘鯛と秋刀魚……岸上博士

△奧樣がたの御噂と全國女學校通信…

一部四拾錢 送料二錢五厘・六冊二圓廿四錢

東京芝區芝公園九號 振替東京一四一七七 玄文社

支那書畫骨董珍品壹千點

空前の大競賣會

▲支那各地に於て集中したる逸品珍器に御座候

日時 十月廿五日下見 廿六日（正午より）賣

場所 本町二 競賣會館樓上

荷主 松田初太郎、清水建雄

世話人 京城競賣株式會社（電話七八四）

▲縱覽隨意▼

內科 胃腸病 診察夜九時迄

石川醫院 本町一丁目 電話 [illegible]番

治淋新藥

ブレノリン

ドクトル松本儀一郎先生の創案により製出したる本品は速に體內に吸收分解せられて尿に强烈なる殺菌防腐性を與へ兼て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。

急性慢性淋疾 消渴、膀胱、尿道加答兒等に當用せらる。

宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻贈呈す。

粉末錠劑の二種あり 各地有名藥舖にあり

東京室町 三共株式會社

散歩に 遠足に 運動會に

森永ミルクキヤラメル

煙草代用

[illegible]講和近しと見込んでか佛國政府は早くも戰捷祝賀用の煙火國旗百萬[illegible]發を横濱市外大岡川村字長田平山[illegible]ので一寸躊躇し最近供給が確定なつたので愈請負契約をしました三色の佛國旗は堅六十六吋横八[illegible]

◇聽診記◇

◇頃京城に流行性感冒が[illegible]て來たので大恐[illegible]たが巡査中過半數の患者を出したので遂に射撃を中止するの止むなきに至つたとの事だ一番にひどく[illegible]正の筋に依ると流行性感冒の菌は未だ的確に發見はして居ないが兎に角傳染病である事は明かで有る[illegible]隔離舍に多數の人を收容せねばならんことゝなるで大いに苦心して居る所であると云つて居た

[illegible]錢と押せし折柄入東京[illegible]圓八十六錢の電あり跡八十錢揚みを採み結局八十五錢と強硬に打止めたり

[illegible]

◇山東通信◇

◆福中公司　河南省一號の礦産に絶對の權利を有する英伊北京シンヂケートより成る福中公司は今回衛河沿岸濬縣地方の堤防修繕費として多大の金員を提供する事となり目下河南省議會に於て之れが辨法に就て審議中なりと云ふが之れ表面該公司が公共事業に援助的投資をなして以て支那人の對公司感情の善感を生ぜしむるに至らしむべき一手段は外ならざるも一方該衛河水運は自己の經營せる焦作民坑の販賣に付て多大の影響あるを以て之れを爲すものなるべきかは言ふを待たざるも外人の對支經濟政策に努力するは此一事を以て見ても推測し得べく取つて以て吾が山東經營の上にも大いに留意すべき價値あるものとなるべしと某消息通は語れり

◆棉花價格　今秋棉花の生産額は昨秋に比較し鮮くも二割り豐作なるにも不拘ず現在濟南市價（精棉）毎一斤（十六兩秤）一吊三百文（銀五十仙）なるが今省内第一の生産地たる高唐地方に在るは現市價毎一斤（十八兩秤）七百文（銀二十六錢）の低價なるに比し其差甚だしく當地と高唐との距離百八十支里にして十分の運搬費用を加算するも斯くの如く大なる差を生ぜざる筈なり今之れが原因に就て聞く處によれば高唐地方よりの通路に於ける匪害甚だしきを以て幸ひ運來し來るものあれば利益の多からざれば皆惜みて手放さゞるに依るものなりと

◆改訂借款　支那側の消息によれば中日實業公司の山東借款百五十萬圓は前報記載の如く岡部三郎氏と財政廳長との交渉により解決したるが其内容は該借款を改めて三百萬圓に增加し此の内より百五十萬圓を償還し償還期九月[illegible]殘金手取結局百二十萬圓なるが之れが擔保としては本省の貨物生産屠殺等の諸稅以外金庫證劵二百萬元を增補せるものなりと而して利子は八厘期限六箇月なりと云ふ

◆小麥解禁　山東省内小麥輸出解禁十萬石に對する在省邦商の山東鐵道運賃割引に際し乗て五割引の特典を出願せるが今當局の意嚮としては三割引の特別取扱をなさんとの由なりと云ふ而して一方之れが特種稅金（或は護照手數料）小麥一石五十二仙麥粉一袋（五十ポント）二十仙と内定さるに至れり而して濟南に於ける該市塲は現在内地安の爲め一向其活況を見ず隨つて相塲も不相變同城上物七兩八九を唱へられ居れる情態なるが漸次内地爲替順調を示すの傾向あり近く若干の活況を見るに至らんと

◆織布工廠　省城の李某は今回周村に於て資本百萬元の一大織布工廠を設置せんと計畫し有力の後援者を得目下專ら其準備に着手せりと云ふこれが出現は案外速かなるべしと某消息通は語り居たり

◎高山植物利用

無盡藏の**クロマメ**の木　咸北道内長白山脈並に茂山郡の奥地白頭山附近一帶の高山に一種の小灌木が自生し秋になると之に

◆無數の小果　が著いて山奥に住む朝鮮人は山葡萄の如く好んで之を食用に供して居る此植物はクロマメノキと謂ふ石楠科に屬する一種の高山植物であつて樹の高さは一尺乃至二尺位の小灌木で葉はホワイトクロバーの葉の小さい樣な丸い形をして密生せる小枝の尖端に著いて居る初夏高山の雪が解ける頃に白色の小花を付けて秋に至り纍々と果實を結ぶのである果實の形は山葡萄に似て果の先端が稍凹んで萼の一部が殘存して居る大さも

◆山葡萄位　のもので一個一個をとつて見ると丁度山葡萄に似て居る之れを鮮名ツルチコックと稱して食用に供して居る舊韓國政府時代には觀察使が年々其乾果を宮中に獻上したものださうだ從來浦鹽から輸入して居つた小形の瓶に入つた強烈なる酸味ある紅紫色のエキスの原料も一部分は之れであると言ふことである曾て茂山郡三社面

◆延社面地方　に此植物があつて何か利用したら面白からうと言ふて居つたこともある又昨年來内地人で白山の此果實を採つて色々と試驗をして居るものがあるが未だ多量に利用する迄に至らない自分は昨秋其乾果を手に入れて之を煎じて砂糖を混和し飲料に供して見たが飲料として最も好適なものであると信ずる又今夏長白山に登つて初めて此植物の

◆分布區域　の廣いことゝ[illegible]山に果實の著いて居る事を實見して驚き且つ頗る愉快に感じた尤も登山の當時は未だ其果實が未熟で青色を呈して居つたから其味はひ等も無かつたが先月下旬或人が此實と液汁とを持つて來たから又之を飲んで見た其味は甘酸其度を得て山葡萄以上の味を有して居る又其液汁は濃厚な紫藍色を呈して稍酸味は弱いが殆んど沛鹽から來る

◆エキスと　大差のない位である之を種苗塲で色々と調査して見ると果實の皮は極めて薄く其種子の如きは胡麻種子の如きものが一果中僅に五六個あるのみで全果殆んど全部漿液のみと云つてよい隨つて其液汁の多いことは到底山葡萄の比ではない又之を潰して置くと直に醗酵して酒精分が出來るし乾燥せしむると一種の乾果が出來るから之が利用の方法によつてはエキスは勿論一種の酒も出來るだらう

◆ジャム　も乾果も出來るし菓子の原料にもなるだらう又此漿液は一種の色素を有するから染料として利用することも出來るだらう殊に食用品の方法に就ては種苗塲に於ても調査中であるが尙試驗塲に現品を送つて試驗をして貰つて居るから何れ其成績が分るだらうと思ふ兎に角朝鮮全道中

◆咸北道獨特　のもので長白山脈より白頭山の絶頂にかけて幾萬町歩と曰ふ廣い面積一帶に自生して其産額は先づ無盡藏と曰つてよいから之が利用するに於ては本道の一大特産物となるであらう

◎浦項行の輕鐵

◇大邱より慶州を經て◇　來る三十一日より開會の慶北共進會開期迄に開通せしむものと此を急ぎつゝある朝鮮輕鐵鄕浦線の一部西岳、浦項間工事は既に全部レールの引き延ばしを終り目下バラスの突つ込みを爲し居れる現況にて檢査官一行も去る廿三日來邸既に現塲に向ひたれば豫定通りの開通を見るべく又西岳、佛國寺間の支線も是亦着々進捗し線路の敷設も後一哩半許りを剩すに過ぎざれば開期より遲るゝが如き事は萬々無しと（大邱）

◎西伯利

産業と歴史的關係

鳥飼平四中學校教諭講話

我々が西伯利に於て最も第一に注意すべきものは産業なり殊に我日本と最も早く最も親密なる關係を有せるは水産業にして今其歴史的地位より是を見るに即ち東部シベリヤの沿岸三州中カムチャツカ州に於ては千八百九十五年露國臘腑獸社が漁業乘獵を始め日本の漁夫を使用したるより我日本人漁夫は逐日出稼者の數を增すに至れり同じく沿海州に於てはカムチャツカ州よりも尙十四五年前我國漁夫との關係を結び居りしも露國政府は日本漁夫の收益の大なるを知り遂に日本漁夫の使用等を禁ずるに至り爾來漁業に對する日露兩國間の物議多く遂に千九百五年に至りポーツマス協約成り次に千九百七年日露漁業協約成立してよりオホーツク海及びベーリング海の露國沿海に於て臘腑獸海虎以外一切の魚類及び水産物を捕獲採取並に製造等を爲すを得るに至れり斯の如く西伯利の水産業と我國漁業者との間に密接なる關係を有し居たるが現在に於ける其水産高を調ぶるにサガレンに於いては漁區數百七十區に對し魚類捕獲高七百五十萬貫カムサツカに於いては漁區數二百五十一區に對し魚類捕獲高三千四百八十萬貫沿海州漁區數三百五十六區に對し魚類捕獲高三百三十萬貫なり今之に由つて之を觀るに其平均より見るにカムサツカ最も捕獲數多きを占め居れり水産業に於ては現今カムサツカは西伯利の富の中心なりと目され居り而も其中心點たるカムサツカの漁業に對し我日本人の掌中に全權を握れるもの實に前表示中の七割三分なりと云ふ

◎鐵屑とブリキ屑

◆滿洲方面で買集むる◆　大連製鐵所や或は鞍山製鐵所等より製鐵材料として盛んに買收をなしつゝあつた屑鐵ブリキ屑等も昨年以來奉天田中新洋行が專ら買集して大阪へ輸出した結果甚だ品薄となり一方銀相塲が高騰であつた關係上輸出困難を感じ一時互に買控への姿にあつたが此頃銀相塲が輸出に對し都合よくなつた爲め邦人は再び之が蒐集に大活動をする事になつた併し既に大口貨物は大抵買悉した事とて當奉天に於ては集まらず鐵嶺開原長春方面迄手を伸ばし邦商の内には南滿鐵道の沿線方面に進出せんと目論見して居る者もある何にせよ屑價が餘り高い物ではないから無暗に遠く出て集めた處が運賃の關係上損害を見る事もある已に昨年邦人の或者は哈爾賓で相當の數量を蒐集したが運賃の多額を要した爲めに失敗した例もあるから相互自重的態度を破つて居る併し銀相塲が百圓臺を破つて下落すれば必ず大競爭で蒐集する事が頻出するに至るであらうと同業者某は語れり（奉天）

◎流行性感冒の猖獗……平壤

一個聯隊中に三百卅人　官廳は何處も空椅子だらけ

例年にない滿洲感冒と云ふ惡性の感冒に襲はれた平壤の居住者は其後各方面とも病勢益々旺盛なもので此の調子では却々容易に終熄しさうにもない步兵七十七聯隊では三百人を突破して既に三百三十人の患者を出したと云ふ將卒が此の感冒の爲めに苦しめられてゐる、其後に於ける市民の數は到底確實に知ることは出來ないが今日までの羅病者數は優に六百人に達してゐるだらうと某醫師が話してゐた何處の官廳へ行つても日一日と空椅子の數が殖えて行つてゐる何故かと聞くと出張旅行の外は全部感冒で缺勤してゐると云ふてゐる、こんな風が平壤ばかりと思ふと、どうして〳〵先づ殆んど全鮮と云つてもよい位廣まつてゐて何處でも同じ樣な有樣だ、先づ平壤の近所では順川、德川方面でも非常な流行で中々素破らしい勢ひださうである

奉天で好評の大邱産の果實

◆荷造上の成功から◆　奉天移入果物は甚だ夥多にして從つて相塲も廉なりと雖も冬季に入れば運輸絶對に不可能なるを以て或は邦商は同季に於て大邱林檎を輸入し日本人向きとして販賣すべく既に試賣として二三回輸入を爲したるも奉天他果物の相塲甚だ廉なりしに依り思はしき成績を揚げ得ざりしが併し向後支那果物の移入杜絶に至らば必ず相當の相塲を現出すべく豫測し更に其の輸入を企てつゝあり果して好果を收め得べきや否や今の處斷定し難し大邱に於る冬季の荷造りは甚だ完全にして兩三年以來三多と雖も毫も凍傷せず奉天に到着せしめ得る事だけは二三年來の試驗に依つて正確なれば日本人料理屋向き或は宿屋其他の少數需用者に向つて供給せば可なりの利にあるべし相塲としても今日より三四割の騰貴を見るは容易なるべしと（奉天）

◎帆船沈沒し　船長行方不明

鎭南浦三和町端島策郞所有に係る帆船策榮丸（四十噸）は十月十七日安州江より大倉組所有鐵石積載し鎭南浦港に向け航行中十八日午前四時頃廣梁灣下流吹螺島沖合に於て強烈なる風波に遭遇し錨纜及び舵を折られ艤體の自由を失ひたるより船長平松某及び船夫は折柄附近を航行中なる漁船に便乘せんとしたるも平松某は之を果さず鮮船夫のみ便乘し漸く難を免れたるより同船夫は直ちに鎭南浦海事局出張所に急報したるより同所に於ては同日午後九時頃所屬艦鴨入丸を以て直ちに救助に向ひたるが未だ發見されずと（鎭南浦）

◎鰹節と安い羅紗

東京で開かれてゐる發明品展覽會で一際目立つのは泥炭を炭塊にしたものと鰹節の代用たる鰹節とで此の鰹節は久しい間種々なる研究を積んだ結果今回漸く立派な品が出來るやうになつた、鰹節は鰹から節の樣にして作つたのでは質がほろ〳〵してうまく削れなかつたが今度の發明による蒸して壓搾する方法を取つた爲めに削り心地もよく肉もしまつてそれで値段にすると鰹節の半値である鰹節と見分けのつかぬ位の味はひを持ち鰹の香は少しもしない、これは内地で製しては高いものにつくが鰹の名産地は樺太で大仕掛に製造される事になつたから遠からず發賣されるであらう砂羅紗の代用品には三種ある、其一は綿布の毛の粉を加工した散布羅紗の改良品で從來の品は單に粉を糊で固めたに過ぎなかつたが此改良品は針で綿布の織目に毛の粉末を刺込んだのであるから實用の上に於て非常な進歩である、其二は例の牛毛織と其三は蟲羅紗で普通羅紗は一ヤール十二三圓もする時に此羅紗は僅四五圓で出來るさうである（東京）

◇北漢山登（二）

赤鶴生（投）

◎暮色歸途にて
秋の、は尾花が袖にかくれつゝ、簡野げ高し虫の聲々

◎追洗寺の夕陽
暮れやすき秋の日あしをなほとめてん日照りそふ紅葉みぞ見る

◎同　時雨
秋の香もふけし山路の古寺に友待ち居れば時雨降るなり

◎東小門にて回顧
見かへれば霧立ちこめてかげもなしやみし峯やいづくなるらん

◎永き紀念の撮影
友どみか時たついはほうつし繪にけふの一こ日なかたりつかばや

◎石坡亭　撫松
松聲楓紅纖光鮮、深秋一路韻消々、春風秋雨亭猶在、今日英魂吊那邊、

◎洗劍亭
廢角廢亭經劫興、蒼松紅葉滿山新、壚間翻底秋泉咽、不見當年洗劍人、

◎山映樓
水聲嵐陰引溪流、雲生溪底繞欄浮、仰瞻仁王一蒼壁、天半孱顏嘆古樓、

◎白雲臺
日星咫尺白雲峯、嵒角振衣心快哉、西望滄溟淸海氣、南來山勢伴京迴、

◎北岳の紅葉（十句）　寒蟻
城壁の踏八尺や蔦紅葉
晴道登る東や草紅葉
怪石や奇巖危し蔦紅葉
水湖れて洗劍亭の紅葉哉
雨班の道跡み迷ふ紅葉哉
水清く山高くして紅葉哉
紅葉山女の聲や岩の陰
紅葉焚いて酒あたゝむる男哉
驅け行くや白雲臺の夕紅葉
雲收ふ峠にからまるや蔦紅葉

◎雜　句　寒蟻
ふり向けば漢陽の秋晴にけり
稻田刈る鎮　光や秋の雲
衣園ふみ氣にすみ秋の空

◎登山記念　十句　臨亭
太古寺に五拾ふや秋の山
北岳を越して漢陽に渡鳥
天を摩す白雲臺や秋の空

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛版
迅速と懇切を旨とし熟練せる技術を以て最も廉價に御高需に可應候
京口寫眞製版部

樣々に錦織りなす秋の山
蔦紅葉苔むす怪石掛けりけり
荒れ果てし城壁飾る紅葉哉
疲れ果てゝ攀ぢ登りけり紅葉谷
兀として絶高きにやや霧るゝ
呼び交はす聲や秋の山
登り着きし山の峠やいの風
紅葉折て辻下るや谷の道
夕霧隔てゝ遠し山の寺

◎城壁の紅葉　露波
石の壁さへ色紅の衣裝にふる錦なり草い

◎山路の野菊
岩と岩の間に咲いて白い野菊の立ち姿

◎岩頭の美人
嵓に立つ姫は、姫さまか見れば紅地の帶しめて

◎其の二
恥も誇らぬ白雲臺に誰を慕つて行くのやら

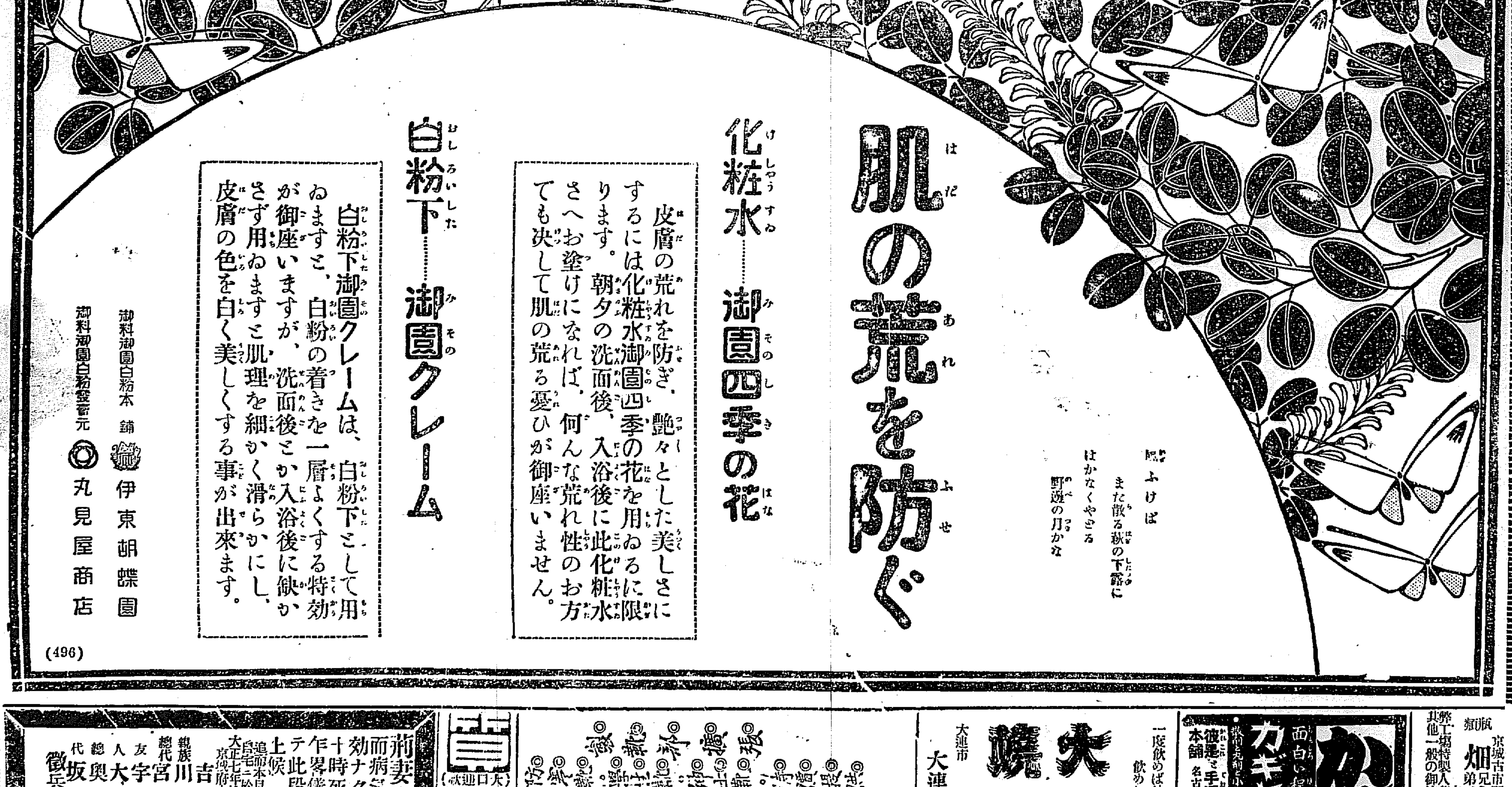
◎山頂の觀望
茶で薄紅の少ながむれば國の飛ぶよな

◎太古寺
辿り付いたる此山寺にあればかりたい衣浮ぶ

◎歸路
夕日釣つ添路に紅葉もつ人菊の人

台所　其の日〳〵

◆蒸茄子◆　中位な茄子を水洗ひ〳〵庖刀で皮を剝き蔕を切り捨てゝ縱に二つに切つて水の中へ入れアクぬきをして蒸籠に入れて蒸し適宜に切つて椀に盛り上から掛け汁を掛けます、鷄肉の掛け汁は鍋に入れこれに醬油を加へて煮て一旦鍋を下し再び火にかけ葛が透明つて來たならば鍋を下して宜しいのであります



京城古市町電話二七四六番
瓶類　畑硝子工場
主　畑兄弟
弊工場特製人蔘エキス瓶……に限る
其他一般の御注文に可應候

面白い程きくカギヤ、ヂリン
かぜねつ
彼是と手遲せぬ樣直ぐ用よ
藥店及小間物店にあり
名古屋　本舗　荒川長太郞

一度飲めば外の品は飲めなくなります
大連燒酎
大連市　大連燒酎製造所

張　遺　新　[illegible]
千葉[illegible]

（大）黃金町長橋町入口
田村質店
（歡迎）（電話二九一六番）
商品擔保便利取扱

荊妻タケ儀豫而病氣ノ處藥石効ナク本日午後十時死去仕候間乍略儀紙上ヲ以テ此段御通知申上候
追而本月廿五日午後一時自宅ニ於テ神葬式執行
大正七年拾月廿三日
京城府本町四ノ一三一
親族　吉岡薰英
總代　川村庄吉
友人　宮田菅治
　　　宇田龜吉
　　　大崎龜雄
　　　奥田直毅
總代　坂口祐一
　　　徴兵保險會社
　　　社員一同

[illegible]

商況

東京株式內電

廿三日後場引値
東株　一七三、〇〇
同新　一三八、七〇
郵船新　九八、〇〇
紡績　三三七、一〇
鐘紡
拓殖　一八、七九

東京期米特電

▲二十三日 前場　市場直き氣構にて…大下放に寄付地場及び北國筋…東筋の買進に六十五錢さ小戻…たるも跡強地安を傳ふる地場の賣…引戻しもあり六十錢と不況に大引したり

▲後場　各地引續き軟弱にて五十錢さ不味に始まり…一錢と叩かれたるが跡直地場筋…の安値ありしも止は五十三錢…

兵庫期米特電

廿四日前場
末 著
引 寄 たり

大阪株式內電

▲二十三日 前場　東京の不況を移したるも…

▲後場　…

東洋製鐵	
同上新株	
合同紡績	
東洋紡績	
京阪電鐵	
宇治川水	

小高下に過ぎざりき

大阪三品特電

二十三日後場
十月限　三九二、三〇
十一月限
十二月限　三六五、三〇

大阪期米特電

▲二十三日

▲前場　今朝各地一齊安を移し下放れんかの気配なりしが軟派の利喰に十六錢さ底堅く始まり…

▲後場　各地軟状を眺め…

下關期米特電

二十四日前場
末 著
二十四日前場…一時氣直りしも商況賣人氣旺盛なり

雜報

◎綿布は强硬

三銘先物十一圓六十錢を移せるが…

迄高内行に五十五圓處

二百四十圓處

人氣相場の大反動

◎銅眞鍮板騰貴

一躍七八圓方の昻騰

◎洋臘値上げ

上三錢方の値上行げ市中建値も四十五錢五厘

◎荏油及び桐油

◎內地麥市況

小麥安

麥安

◎皮革先高見越

ボックス皮

圓キット坪當り廿五錢高の入報

象皮二十五圓方の報

◎肉類の其後

値上ひたり

三四圓方の昻騰

殆ど持合

鷄肉約四五錢の昻騰

◎種油稍々低落

三十錢方

胡麻油

京城正米市場

更に二三十錢方下落

南大門廻穀

各地商況

○大邱米況（二十三日）
○木浦米況（二十二日）

釜山物資市場

生魚市場

下關相場

仁川期米

二十四日前場

九十錢さ二十一圓

錢安に寄付

下押す

賣物多く七十三錢と暴落

不務の成行

大變動裡に

仁川豆米取引所

廿四日の十二月限

京 仲買店

期米暴落す

三錢と暴落

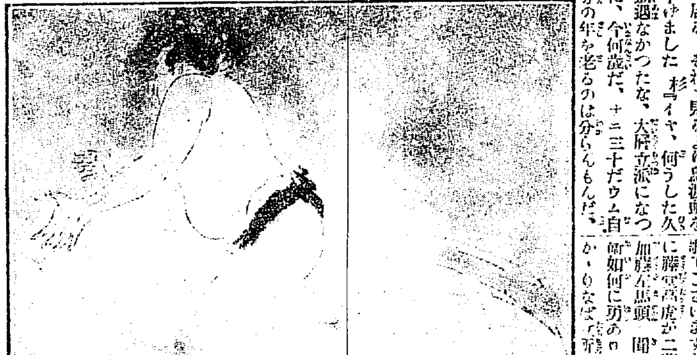
遂に六圓七十

市場觀

東京下放れ移り投

續出

大賣物



毛谷村六助　廿六番角力

四十四席　桃川　桂　玉口演
浪上義三郎速記

此樣子を見て曾呂利新左衛門、…

◎安東縣近事

幾野醫院
龍山元町（電話一〇四番）

院長　醫學士　森　定吉
（安東縣病院改め）
內科 小兒科　森　病院
京城明治町三丁目　電話二六一一番

御菓子卸商
永興製菓所
主任　金　鎮　秀

人参主人
京城本町壹丁目　電話一四八〇〇番
津村兄弟商會

演藝案內

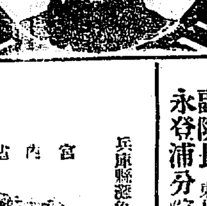
本町五丁目 文樂座
大正館
浪花館
黃金館
壽館
有樂館

◎人情活劇　焰の氣球
沼の血
◎新派悲劇　毒　煙
泣かぬ女
めぐれる階段
文珠九助
少年愛國家
神の坩堝
灰色の幽靈

クレームレートは實に理想のクリームです。即ちキメが細かくお肌に良く融け合ひ惡性の脂や臭氣がなく、お顔の色艶を若々しく美しくする純良無二の逸品で、御婦人方の歡迎紳士間の好評、共に嘖々

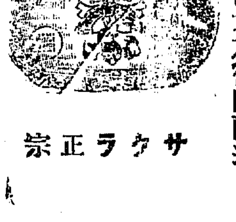
御旅館
朝日館

山口五十雄村上唯吉共著
畫の道しるべ



瀨戸外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目（電話二四九八番）
醫學士　瀨戸　潔

宮內省御用達



櫻正宗
京城明治町二丁目
櫻正宗櫻魂發賣元　山邑京城支店
兵庫縣灘魚崎
山邑太左衛門釀造
サクラ正宗

內科 小兒科（入院室完備）
小林醫院
京城旭町一丁目（電話九六二番）
院長　醫學士　小林千壽
副院長　東北醫學士　戸川武
永登浦分院長醫師　久保廣次

京城日報

十大都の製造業に

[illegible]の工業は戰爭以來勞力の不足[illegible]張を行ひ[illegible]製造を過去三箇年間に於ける平均產額の二分の一の缺乏等に依りて平時に比し二割乃至三割方は休業の餘儀なきに立ち到り結ぶべきことを命ぜりと[illegible]りしものが今や盛んに海外に輸出し得る程度に發達せるのみならず[illegible]萬難を排し遮二無二斷行するに至るやも知るべからず或は米國絹織物の生產[illegible]るなきを保せず果して然りとせば[illegible]丈け夫だけ我[illegible]れ亦餘り期待すべからざることに屬す何れにしても米國絹織物生產[illegible]

本紙定價　壹部參錢　壹ヶ月七拾五錢　六ヶ月四圓二拾錢　一ヶ年八圓四拾錢
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　小川[illegible]　印刷人　[illegible]
發行所　京城府[illegible]　合資會社京城日報社

將來の儒學　京城日報

一

朝鮮に於ける儒學の地位は、內地のそれに比して遙に重大なり。內地の儒學は歷史的研究若くは文學的方面に於て、專門研究家に許さるれども、一般國民思想との直接交涉は、次第に薄らぎ行くの事相あるは掩ふべからず。然るに朝鮮に於ける儒學は、今猶民衆の間に活潑なる生命を託し、全體の思想を支配する實力の衰へざるは、吾人が屢々看取するを得る所なり。蓋し朝鮮近古の文化は、專ら儒學の爲めに育養せられたるものにして、儒學を除きては、別に學問なく、道德なく、文物なく、法度なかりしが故に、儒學思想の人心に浹洽せること極めて深く、其の根柢を立つる牢乎として拔くべからざるものあるを以てなり。

二

然れども儒學を墨守して、近代世界文明と並馳することは、實際に於て大なる支吾を免るゝ能はず。其の著しき實例は、之を儒學の本地たる支那の現狀に徵するを得べし。支那が彼の尨大なる國土と、四萬萬の民衆の人口を有ちながら、國力銷沈、紀綱弛廢し、殆ど國家を成し能はざるまでの悲況に陷りつゝあるは、種々錯綜せる原由ありと雖も、其の國民思想が近代世界文明と並行し能はざるを以て、最も主なるものと爲さゞるべからず。即ち支那に於ける儒學の中毒は、恰も其の國民の多數が阿片中毒に苦しみつゝあると均しく、容易に醫すべからざる狀態に在るは、何人も容易に看取し得る所なりとす。

三

儒學は固よりしかく無毒のみを流すものにあらず。現に日本に在りても、朝鮮と略同樣に、儒學勢力の甚大にして、他の學問思想を壓倒したるの時代ありしことは、否むべからざる所なるも、幸ひにして日本國民は外來の文化に對して咀嚼消化の能力を具有したるがために、其の利弊を選擇取捨するに極めて自由自在にして、能く儒學を利用して自己の文明を助長したり。然るに支那及び朝鮮に於いては、咀嚼消化といふことに考へ及ばず、一併生吞、自ら求めて桎梏裡に蹐在せるがために、其利を享くること割合に少く、反對に弊害のみを蒙るの仕合せとなりしこそ遺憾なれ。吾人は決して儒學を以て無用の長物なりとは思はず特に朝鮮に於いては其の重大なる地位を認むと雖も、將來之を學習研究する上に就て、斷々乎として膠柱束縛を受くるなからんことを思はざるを得ず。

四

畢竟學問は、學問のために學問するにあらずして、學問を爲すの要あるがために學問するものなれば、如何なる場合に於ても、學問は客にして、自我は主なるの心得を忘るべからず。學問のために學問するものは、動もすれば膠着束縛を免れざるも、自我を主とするものは、常に咀嚼消化を怠らざるが故に、甘味を咽下し、苦味を吐き出し、以て自己の修養に資するを得。

五

學問のために學問するは、小兒の課業のみ。自我を主とするは成年者の事なり。孔子も「三十而立」といはれ、後の學者も亦「隨處爲主、立處皆眞」といへり。朝鮮の文化も最早而立に達したる筈なれば、生存的學問より批判的學問に移らざるべからず。然らずして依然として舊套を守り、徒らに兒輩の咿唔呫嗶に敎ふに於ては、儒學は寧ろ毒と爲るも、藥とはならず。孟子いはずや『盡く書を信ぜば、書なきに如かず』と。將來の儒學は、人々個々嚴しく批判の利刃を揮ひ、舊套の繫縛を切斷し去るを要す。

西部戰線現狀　樋口大佐歸朝談

△聯軍總司令部　聯合軍をして總司令部を編成せしめフォッシュ將軍其重任を帶ぶるに至りて茲に初めて聯合各國軍間脈絡相通じ兵力の集散運動意の如く彼是相扶け緩急相應ずるを得爾來軍隊は自から活氣を呈し戰鬪は常に機先を制するに至れり斯の如き由來こ重任こを負ふ司令部のことなれば其內容の整頓は云ふ迄もなく流石に聯合各國の重任を双肩に擔うて力あるの感あり

△獨統帥部作戰　獨軍目下の作戰狀態を觀察するに從來と頗る其趣きを異にし獨軍の所謂疾風迅雷的行動は最早其影だに止めず守るが如く退くが如く一歩々々聯合軍に機先を制せられつゝ恰も一定の作戰大方針なきが如し是畢竟統帥部の計畫と軍隊の行動相一致せざるの致す所ならんと推測せらる

△獨軍不振の因　獨軍の價値急轉直下の勢ひを以て低落せるは何人も稍意外とする所にして目下獨軍の不振に付二樣に觀察するを得べし即ち積極的に云へば獨國未だ大野心を棄てずと雖も現戰局の大勢上より今暫く隱忍し捲土重來を策し此際尙兵力の餘裕を存して再擧を計らんとするの企圖にあらざるか何事にも打算的なる獨逸國民のことなれば斷じて斯かる計畫なしとも限らず又一方消極的に觀察すれば元來中歐同盟の勢力は到底聯合國の勢力に及ばず殊に最近の敗戰は殆ど獨軍の絕望的の大打擊を與へ假令軍隊の崩壞奔軍の如くに至らずとするも戰鬪持久の力逐次衰弱しつゝあるにあらざるか予の觀察を以てせば恐らく後者に近からん即ち

△獨軍の低落　は過去四年間に於ける兵力極度の使用に由り其精銳を減じ恰も此精力減退の機に當り新銳なる米軍の參加に由り攻勢は轉じて守勢となり退却に次ぐに退却を以てしたる結果軍紀著しく弛緩したるものと察せらる更に重大なる影響を及ぼし急轉直下の低落を來したるには非ざるか由來軍紀嚴肅天下に冠たりと自稱せし獨軍にして尙ほ士卒の將校に對し敬意を拂はざるものありと云ふ如き一葉落ちて秋風至るを察すべきにあらずや

△戰塲の聯合軍　開戰前の佛軍は獨軍に對し或は一歩を輸することなきやと幾分危惧するものありしも實際に於ては然らず過去四年間の惡戰苦鬪或は巴里の運命幾たびか危險を告げられしも毫も屈せず今や聯合軍の骨幹となり益佛國々民の本領を發揮しつゝあり此勇氣と忍耐とは恐らく歷史的より來れるものにして古來幾回か國難に遭遇し鍛錬せられたる國民精神の發露に外ならず尙從來輕視せられたる英米軍の如きも頗る見るべきものあり是れに由り戰線を巡察する每に國民性涵養の緊要なることを切實に感じたり

△戰塲附近光景　西部戰場を視察し最も感嘆すべきは附近田園の耕作十分にして一畝の荒廢地だに見ざることなり佛將校は曰く『婦人の力斯迄强きことは戰前吾人の夢想せざりし所なり』と實に然り今や佛國は全力を擧げて戰鬪に從事し十八九歲より五十歲に至る男子は不具疾病者を除き悉く兵役に召集せられあり國內一切の勞働は皆婦人の纖手に俟たざる可からず貴族富豪の妻女は進んで看護婦となり將校夫人は小學敎師となり所謂往時の巴里夫人も田園の新たとなりのみ方面婦人の活動を見ざるなし當余の最も感動を惹きしは戰塲附近の兒童にして砲彈爆發に際し飛散する毒瓦斯を防ぐ爲め各防毒面具を携帶し學校に通學しつゝあることなり（毒瓦斯は初め毒瓦斯發射筒に由り敵方に向かひ放射せしが近時は巨大なる彈丸中に瓦斯を挿入し其爆烈に當り破片彈子と同時に敵中に飛散し多大の死傷を生ぜしむ）斯の如き兒童は幸か不幸か固より慨歎する能はざるも一面に於ては確に精神的に偉大なる敎訓を受くるならん（東京）

邂逅　三十　佐々木峯雪

出來心　六

雨風は止みさうにもなかつた、庄吉は破れた單物に草鞋を穿いて天秤棒を肩に血の出る程聲を張り上げて、雨風烈しい惠比須町あたりを每日のやうに顧客を廻つた。

『茄子、茄子、安い茄子……』

庄吉は落ちも無く廻り歩いたがどうしたものか其日は每日のやうに賣れ無かつた、

『あゝ二十八錢しきや未だ儲けが無い』

歸る時分が來てもやはり賣れ無かつた、がつかりして中學校の構手をびしや／＼と力無う戾つて來ると、何か足に引懸つたやうに感じた。

『はて何だらう』不審に思つて立ち止つて足元を見ると、其處には泥に塗れて汚れ切つた淡紫色の小布に包んだ、何か知れ無いがあまり大きくも無く小さくも無いものが落ちてあつた。

『何だらう』と足でそれを探つて居たが、やがて驚いたやうに『や、財布だ』と叫んで邊を見廻すと、其處には人一人見當ら無かつた

『誰かゞ落したんだらう、幾ら入つて居るか知ら無いが、落した人は探して居るだらう、警察へ屆けてやらうかしらァ』とそれを手に執り上げて『いやもし人が見て居ちや、僕が自分の物に爲たと思はれちや詰まら無い、やつぱり此處へ落した儘にして歸らう、然うすれば落した人が探しに來れば拾ふだらうし、又外の人が拾へば其人が屆けるだらう、稱う爲やう』と二三步歸りかけた足を又元の處迄後戻りして、財布を元のやうに置いた、

斯うして歸らう、然し誰が落したんだらう、今頃は探して居るだらうに、歸り掛けては『それにしても幾らあるんだらう』と思ふとそれが堪ら無い程見度くなつた。

『見たいなァ』庄吉は矢も楯も堪ら無かつた

『拾つて自分の物にするのは惡いけれど、一寸位見たつて盜人ぢや無からう』

四邊を見ても何も居無かつた、庄吉は思ひ切つて天秤棒をそれへ下した、

『一寸だ、好い』と心に云ひながらも、慄ふ手で泥に汚れた服紗を解いた、中には鰐の本皮製の蟇口が腹一杯に脹んで居た。

『ヤァこれは』と恐る／＼開けて見ると、一方には銀貨ばかりが十二三光つて見えた、

『おや大金だ』と呆れて、他の一方を見ると、其處には十圓紙幣で五枚、五圓が一枚に五十錢紙幣が四五枚疊み込んであつた。

『おや、六十圓……』庄吉は殆んど打ち倒れさうになつた。

『今僕の宅にや一圓の金も無い、それに此小さい財布の中には六十圓の餘もある。あゝ持つて居る人は持つて居るな、これだけあつたら大抵の店は出せる、あゝこれ欲しいなァ』

庄吉は俄に慾心を起した『いや／＼これは他人の物だ、自分の物にしては罪がある』と思ふ心の下から『それでも欲しい』と抑へても／＼慾心が頭を擡げた。

『寧そ………』と前後を見廻はしても誰も見當ら無い。

『うまい』と微に頰笑んで、蟇口を懷へ入やうとすると、何處かでこら待てと云ふ幽かな聲が聞へるやうに思ふ、

『心の故だらう』庄吉は思ひ切つて懷へ入て、天秤棒を肩にびしや／＼と行かうとすると、耳の側で盜棒、盜棒と罵られるやうに思ふ、はつと思つて後振り返つても何者も居ない。

『まァよかつた』と安堵の胸を撫でゝ、片手を天秤棒に、片手を懷に入れて雨の道を自分の家へ急いだ。

『誰も見てや爲無かつただらうか』と思ふと、もし見て居たものがあつたらと惡心に咎められながら路次口へ入つた。

破れた庄吉の菅笠に、柳の病葉を混ぜて風に運ばれた雨が、槍のやうにばた／＼と叩いた。

牽牛花　篠島　翠峯

呼作牽牛名未眞。此花日對曉窓新。紅紫藍色千種。不屬玄眠帳裏人。

秋郊散策　河島　五山

學園日、又見諷刺、
吟杖乘晴過野塘。一眸十里古年穗。蓼花引蝶圯橋斷。鴻雁掠雲天路長。雀弄田翁畦上叫。風吹不歸龍頭香。勤爲寬等案山子。村北村南秋已黃。

學園日、大有臨淵之致、七八殊佳

鑛山　分析調査　設計買收
明治町支那領事館前通　田部分析所　長電話二七七一番

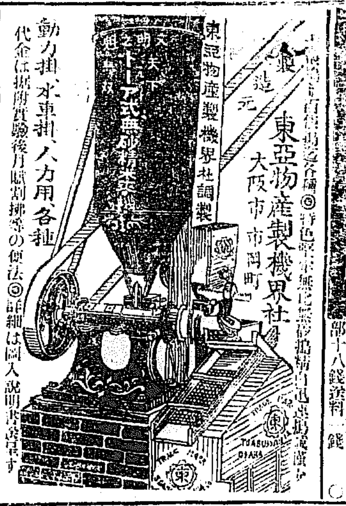
飛行少年　十一月號
奇談　生首奇談
冒險　黃巾大盜賊團
武俠　死人の手
少年　奇怪な船客
冒險小說　赤帆の船
定價十八錢　郵稅[illegible]
東京　[illegible]　振替東京[illegible]

藥草栽培
畑一段歩で一千圓もあがる
◇庭の片隅からでも
◇大金が儲かる
日下日本政府が奬勵金を下附して盛んに奬勵して居る各種藥草の栽培は地方都村の福音である。藥草栽培は骨が折れず樂みが多く然も多大の收入あり中には畑一反歩から一收穫に千圓近くの收益を上げてゐるものもあるそれだから一坪の土地でも利用すればよき副業內職となる。殊に資れは大金が儲かる。又野原に繁茂せる野外藥草でも之を採取して販賣すれば無資本で一ヶ月五十圓內外の利益を得る事も出來る。其の栽培法、採取法、販賣法等は東京神田表神保町日本藥草研究會發行の講義錄を見るが一番よい同會の會員には質問隨意、藥草共同販賣等の特典もある會則及講義錄見本は同會宛ハガキにて申込次第進呈する（至急を要す）

軍隊拂下大安賣
△茶褐外套　毛布
△冬茶褐小倉服
△アイボージヤッ袴下
△冬羅紗服ジャッ
△軍帽、靴下、雨合羽
右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候
龍山元町一丁目　川本衣服店　電話五六振替口座二五六九

珍花　植物　果樹　苗木
兵庫縣川邊郡山本村　種樹園　目錄進呈

動力用・水車用・人力用各種
東京物產製機界社調製
大亞物產製機界社　大阪市[illegible]
代金は据附實驗後月賦割拂等の便法◎詳細は図入說明書進呈す



鑛山協會編纂
鑛石と探鑛法
紙數五百頁　特殊活版　總美裝
定價參圓五拾錢　送料拾六錢海外四拾錢
吾人の脚下　天與の富源　充溢す
◆鑛山師とは何ぞや　◆地質構造の要領、鑛床鑛脈の分布　◆鑛山の見附方、鑛山發見後の取扱法
鑛山業の危險、鑛山失敗の原因等につき實地の經驗と實例を詳細說明したる本書は道が安全なる先に讀まねばならぬ先づ日本支那朝鮮西比利亞等に亘り誰にも分り安く說明せり……の如きは鑛業家多年の實驗より割出したる有益なる方法を示して計畫者に指南を與ふ。若夫れ我國鑛業の現狀、鑛業に關する法規等を揭載せるに至つては現代に於ける稀有の書なるべし
發兌　東京小石川表町　振替東京一二八〇　大日本工業學會　電話小石川一〇四〇番
捌所　丸善、大阪屋其他

新荷着

ショール　各種
四五圓ヨリ三十五圓迄
京城本町　塚谷洋品店

大正紙器製本株式會社 株式募集

既設工塲の收金繼承　吾社は過去十數年間營業を繼續し來りて多年の顧客と完全なる工場及び機械を具備し現に一ヶ月各月千圓強の收入ある東京九段の製本所永へ堂、伊東の兩紙器製造工場を買收して一層規模を擴張し製本所の利益を增加せんとす故に名は創立なれども然らず、即ち既設三工場の持ちし顧客と收入とを第一日より收得し得べく、彼の新設事業の會社にありがちなる立脚點に於て既に業に雲泥の差あり、換言すれば既設工場の技術と顧客とを繼承する吾社には何等の危惧なし。

紙器萬能の大需要來　吾社の繼承する事業の第一は紙器の製造供給にあり、近世科學の非常なる進歩は紙に加工せる各種の容器を發明し、殊に世界的大戰の結果石油、植物油、魚油等の容器に紙を代用するの工風自づから發達せり、蓋し此等は吾社の製する紙器は金屬類木材類の容器に比して價格の低廉なるのみならず容易に破損せず一種の優美なる趣味を具ふる故に世界到る處非常なる需要を呈するに至れり、如何なる容器にして紙製ならざるなき奇現象を見る時代の到來を見るに至れり、如此紙器の大需要に際し、煙草、武器製造關係の株式が一般に囑目する時代の需要に適應すべく永久堂及び伊東の紙器製造工場を擴張し吾社が特許を得たる所以のもの蓋し何人も利潤の計算的基礎を首肯せらるべし况んや內地は勿論朝鮮、支那、滿洲、露國に亘り需要供給に應ずるに於ては其の利殆んど測るべからず。

製本事業と附隨印刷　紙製容器の大需要にして既に斯の如し、吾社は更に第二の事業として製本事業及び附隨の印刷業を併營せんとす、蓋し圖書の刊行は年々增加して止まる所を知らず、如此圖書の刊行は即ち製本の大需要にして、且つ繼承すべき吾社の從來の東光堂製本工場が印刷機を有するに於て之を盛大ならしめ需要家諸君の便宜を圖る所以にして吾社は印刷業を兼營し紙器と謂はず製本と謂はず其の表面、其背皮には印刷を要するものにして、其機關を具備する吾社の既設工場は如何なる註文にも應ず。上述の如く廣汎なる紙器製造業と、有望なる製本業、印刷業を併營經營せんとする吾社の營業的立脚點は、既設工場の地の利及び選定の顧客と相俟ちて其發展の期して待つべし、各位乞ふ世界人類の終結後局一層經濟的、智識的要求の前に擴大すべき我社の事業を一瞥し應募あらん事を。

募集要項

一、資本金總額　壹百万圓（貳萬株）
一、一株の金額　金五拾圓
一、第一回拂込金　金拾貳圓五拾錢（證據金併算）
一、募集株數　參千五百株（總株數貳萬株の內壹萬六千五百株は發起人賛成人にて引受濟）
一、申込株數單位　五株以上
一、申込期限　大正七年十月二十日より十一月十日迄
一、申込證據金　壹株に付金貳圓五拾錢
一、募入方法　應募超過の場合は發起人に於て適宜之を決定す

定款目論見書及申込用紙は取扱銀行又は當創立事務所に御申込次第進呈す

創立委員長　大井卜新

發起人賛成人（いろは順〇印發起人）
[illegible]

申込取扱所
[illegible]

東京市神田區西小川町二丁目九番地（電話本局三五八四番）
大正紙器製本株式會社創立事務所
振替貯金口座東京三三五五〇〇番

◇保守派汎獨派 講和排斥を呼號す

——獨對大統領回答注目——

ウヰルソン大統領に對する獨逸の回答は多大の注目を以て期待されつゝあり獨逸の保守派及び汎獨派は講和排斥を呼號し必死的覺悟を決し居れり最近外交方面に達せる情報に據れば獨逸の休戰要求は獨軍を全滅より救はんとのヒンデンブルグ其他軍隊首腦の發意に出しものなるや一點疑ふ可からず若し獨逸が與に聯合國、米國陸海軍當局の作製せしウヰルソン大統領の條件に從はゞ向後獨逸は有利に戰鬪を再開し得る機會を確實に喪失することゝなる可しと(倫敦電報)

◇伯林市民一喜一憂

保守黨外交の拙劣を攻撃

伯林市民は目下平和の成否に關し一喜一憂の狀態にて有望絶望の間を彷徨しつゝありヒンデンブルグ元帥及びルーデンドルフ將軍の聲望は全く地に墜ち保守黨は獨逸外交の拙劣なるを攻撃しつゝありと(巴里電報)

◇講和と英人の觀測

ウヰルソン大統領の獨逸休戰講和提議應酬の獨逸に與ふ可き反撃如何の問題に對し倫敦人士間の觀測は明瞭を缺き居れど或ひは獨逸政府は其運命をウヰルソン大統領の膝下に投げ出す可しと言ひ或は獨逸軍閥派は獨帝の馬前に集まり最後の努力を傾け獨裁的統治者を戴く可しとも言ひ諸説區々たり而も獨逸國内の輿論は目下殆んど放心の體なり(倫敦電報)

◇戰爭は猶繼續せん

獨講和提議と佛國一般の觀測

佛國一般の氣分は首相クレマンソー氏も聲明せる如く戰爭は猶繼續さる可きものにて佛國は將に獨軍が破壞せる北佛地方を再興せざる可からずとなし隨つて過般獨逸より提議せる如き講和運動は獨逸御用黨の執れる慣用手段にして御用黨が先づビユーロー公の名を示したるは最も注目に値す可く彼等は公を動かして外交的に腕を振ふに至る可しと觀測しつゝあり(巴里電報)

◇獨非公式回答 接受

米大統領及び國務卿は非公式に獨逸回答の寫しを接受せるが兩氏共に公式回答に接する迄批評する事を避け居れり(華盛頓電報)

◇獨の回答と米氏

獨逸の回答に對し華盛頓一般は之れを以て獨逸が結局ウヰルソン大統領の休戰條件を承認する無細工なる手段なりと解し居れり(華盛頓電報)

◇獨逸回答と批評

イーヴニングポスト紙華盛頓特派員は論じて曰く獨逸の回答中に於て最も顯著なる二個の事實あり即ち第一は回答が全然且つ絶對的に滿足なるものに非ざる事、第二其不滿足なる回答に發に米國大統領が其通牒に於いて提示せる諸條件が遺憾無く承引せらゝに非ずば米國は之れと商議する事を拒絶すと謂へるに抵觸せる事之れなりされば結局に於ては獨逸の通牒に對して何等官邊の批評論を聽かず(廿一日紐育發電報)

◇對獨決議案提出

米國上院議員ポインデクスター氏は無條件にて降服する迄國會は今後獨逸との商議を禁ずるの決議案を提出せりと(華盛頓電報)

◇白國我戰線前進

聯合軍は白耳義戰線に於て著しき前進を爲したるが同戰線は今や和蘭國境に接し一直線にエールトル方面に走り夫れよりルーテンフール、ヴインクト、グランメス、ウッセルダムよりオイゲムの北方リース運河に走り居れり(倫敦電報)

◎全露政府鞏固 弱點は無兵力

……疏通を圖りつゝありたるウオロゴドに殺され居たるがウオロゴトスキーも東部西部南方面の西伯利事情の實權を得る迄には▲相當の時日を要すべし……ドスキー首相は浦鹽會議を終へて……の歸任することゝ交代して極東方面に就きて互に腹藏なき意見の交換を爲したるもの如し而してウオ……意に充たず未だ自己の軍隊を提供するに躊躇しつゝあれば全露政府……

◇墺國形勢混沌

墺國議會に於ては、クロアト族は國民議會を組織して平和國民議會組織準備中ガリシア及びブロヴキナにあるルテーン、ワレムベルクに會合し獨立又は小露西亞と合併を議すべく獨逸民族は十月十九日各政黨代表者會議を催したり匈牙利に於て羅馬尼人は獨立を要求しスロヴアック族は十月十九日國民議會を開き獨立を宣言せりと(東京特電)

◇匈牙利獨立乎

アムステルダム來電＝墺國皇帝は近く匈牙利の分離獨立を許容するの宣言書を發す可し(廿一日紐育電報)

◇獨墺軍退却繼續

所への鐵道に據れば獨墺軍は聯合軍の攻撃急なるに由り一日平均二十哩の退却を繼續し居れり而してナミユース、メッツ、セダンの線を最後の足留りとして決戰せんとするもの如しと尙ブラッセルに在る獨墺軍は全部撤退の氣運に迫りつゝありと(東京特電)

◇獨師團兵力增加

ベルダン北方に於る最近の激戰中獨軍師團は絶へず兵力を附加し今や各地點に於て頑強に抵抗しつゝあり又ミユーズ河西方に於て我部隊は引續き敵を壓迫しボフ、デ、ローブを占領し捕虜百餘名を得たり(華盛頓電報)

◇オデッサ知事布告

オデッサ知事は布告を發し墺國守備兵退去を豫期するに基づく暴動に就き容赦無き鎭壓手段を執る可しと(ストツクホルム電報)

◇外米輸入關税 撤廢內定

外米輸入關税の撤廢は二十三日の閣議にて內定し次の閣議にて正式に提案決定の上樞密院に御諮詢の上緊急勅令の形式に據り是が撤廢を行ふ筈なりと(東京特電)

◇千早艦 歸還

海軍公表＝嚮頃沿海州方面に在りて作戰に從事中なりし軍艦千早は二十四日橫須賀軍港に歸港せり(東京特電)

◇哈爾賓總領事の更迭

佐藤哈爾賓總領事は派遣軍外交部に轉じ山內長春領事之が後任を命ぜられ近く赴任の筈にて佐藤總領事は約二箇月にて其儘總領事に轉ず可しと傳へらる(長春電報)

◇內田前公使 歸朝

瑞典公使內田定槌氏は二十四日歸朝せり(東京特電)

◇柴四朗氏當選

既報の福島縣衆議院議員補缺選擧の結果柴四朗氏三百三十三票にて當選せり(東京特電)

◎朝郵總會議案

朝鮮郵船會社にては既報の如く來る三十日同社樓上に定時株主總會を開會する事となり既に通告を發し居れるが附議の議案は(一)大正七年四月より九月に至る間の損益決算表(二)同益金分配案(三)退任取締役吉田秀次郎大池忠助堀力太郎の三氏に慰勞金贈呈の件にして當期に於ける朝郵の成績は屢報の如く良好にして繰越金の如き約一萬圓を增加し居れり又三退任取締役に對する慰勞金の贈呈は各社の例により現重役に一任する事となるべしと

◎鈴木北鮮發展

神戶鈴木商店にては最近豆滿江材の伐採權を支那政府より獲得したるに付その採伐製材の經營並に北鮮間島に於ける重要產物を取扱ふため清津若くば其の他の要地に出張所開設の計畫あり目下調査の歩を進め居れるが開設に決すれば多分京城支店の監督を受くる事となるべし

◇徐、梁意見一致

徐總統及び梁士詒氏との間に南方妥協に關する大體の意見一致し目下其進行を策しつゝあるが右內容は副總統は南方に讓るも內閣組織者は必ず北方より推薦し(梁士詒氏を總理に推す)國會は新舊共に犧牲に供すとの條件は最も重要なるを以て考慮を要すべしと(北京特電)

◇南北妥協と米國

徐總統は南北妥協に關し二十二日孫寶琦氏に對し米國公使と協議す可く命令せり孫氏は二十三日米公使館員と會見せり(北京特電)

◇和平方針通電

二十三日政府は各部總長連名にて和平方針に關し西南各省及び其他の各省に對し內容を異にせる和平通電を發せり(北京特電)

◇張勳特赦さる

和蘭公使館に抑留中の張勳氏は特赦されたり(北京特電)

◎北滿沿海州經濟視察 商業會議所聯合計畫

戰局の進展に連れ邦人の北滿及び沿海州地方に出向する者漸く多きを加へ居れるが其の大部分は何等の豫備的知識もなく又確固たる考慮もなく唯だ漫然入り込むが爲め折角目的地に達し乍ら殆んど爲す所を知らず無意味に各所を驅驅し結局手を空しうして引返すに過ぎざる有樣なり而も北滿及び西伯利亞の廣野は實利到る處に散在して邦人の開發を待てり即ち北滿より黑龍江省沿海州に亘る一帶の地域に於ける產業は是非共邦人の手に依りて經營されざる可からず若し日支其他の關係に依り邦人のみの經營を難しとする場合に於ては日支合辦或は日米の合辦に據つて之を營まざる可からず何れにせよ

邦人事業家は此際加へて上各地の經濟事情を精細に研究し以て適切なる產業上の施設に著手するの必要あり然るに前述の邦人の出向する者の大部分は何の得る所もなくして歸還するの狀況なるを以て今日までの所にては彼地の產業狀態は更に判明し居らず依つて全鮮の商業會議所は何れも深く之れを遺憾とし各會議所の聯合にて經濟事情視察員を各地に派遣して適切なる調査を爲さしむる事となり目下各會議所に於て人選中なり而して右視察員は釜山、大邱、木浦、群山、鎭南浦、平壤、京城、仁川の八會議所より總て二名づゝとし各會議所評議員中より之を定むる由なるが

總督府に於ても此計畫に對して同意を表し愈々視察に決定すると同時に視察員の費用の幾分を補助する事となり居れり而して右視察員は往復一箇月の豫定を以て北滿、沿海州及び黑龍江省の各地を巡歷すべく其の巡察地に就ては視察員各自の任意として特に指定せざるも大體の順路としては南鮮方面の會議所より派遣せらる者は浦鹽ニコリスクを經て烏蘇里線をハバロフスクに出で黑龍江線をアラゴエスチエンスク及びアレキセエフスク地方迄西鮮方面よりの者並に中鮮方面よりの派遣員は奉天、長春、哈爾賓を經て東清線の沿線地方即ち齊々哈爾、海拉爾、滿洲里を視察したる後更に西伯利亞を齊多まで夫々打合の上調査を遂ぐる事となるべしと

◎鐵道收入概況

朝鮮線十月中旬分の運輸收入概算を聞くに營業哩數一千百二哩一分乘車人員二十四萬八千百七十四人此の收入二十三萬七千三百九十五圓貨物取扱噸數六萬六千十三噸にして之に對する收入二十三萬三千二百六十七圓合計四十七萬六百六十二圓なるが之を一日一哩平均に見れば四十二圓七十一錢なりと

□總監車中吟

過ぐる九日朝鮮東上せる山縣政務總監の一行と言ふは黃門記の一節にでもありなり、隨從する者曰く無庵秘書官曰く靈洲居士、長尾無亭行又行く車上の談笑繼續を留めず、終始唯風流作話のみ、無庵子近時俳句に熱心にして且つ自から得る所の色あり、今車中吟の秀逸二三を錄せんに左の如し

鹿島立ち都の外れ秋の畑　無庵

あの山の行方やいこ秋の旅　同

海一重出船入船秋時雨　同

時雨行須磨明石鈍帆片帆　靈洲

秋の用や落ちなき落し水　秦雲

◎鑛業の錄 (自十月十二日至同十四日)

▲鑛業權設定

石炭 慶尙北道尙州郡尙州面 三十四萬六千二百三十坪 伊藤辰次郎

金銀 黃海道[illegible]郡蓬萊面 二十萬二千百二十八坪 [illegible] 熊吉

金 延白郡銀川面 四十三萬六千二百五十一坪 金永基

平安南道德川郡太極面 二十八萬三千百四十坪 [illegible]

石炭 咸鏡南道新興郡[illegible]面 四十一萬四百八十五坪 [illegible]

鐵 忠淸南道公州郡反川面 咸興炭鑛鐵道株式會社 九十六萬五千八百四十二坪 岩井幸吉、河野知一

金銀 慶尙北道善山郡海平面 十三萬三千四百六十九坪 金讚植

▲鑛業權移轉

慶尙南道安東郡[illegible] 大倉鑛業株式會社 加藤[illegible] 齊藤新太郎

▲共同代表者指定

京畿道楊州郡檜東面 代表者[illegible]

▲共同權者脫退

黃海道[illegible] 死亡脫退

◎軍司令官動靜

宇都宮軍司令官は豫報の如く廿三日朝大邱を出發古城副官を隨へ第四十旅團機動演習觀察の爲め演習地へ向け出發せしが廿四日は溫泉附近廿五日は天安附近の演習を視察し廿五日午後水原へ向ふ筈なり

◎沖野技監來鮮

內務省土木局技監工學博士沖野忠雄氏は二十七日擧行さるべき仁川築港竣工式列席の爲め二十五日朝釜山上陸更に北行すべしと(釜山)

◎開城驛改築著手

既報の如く開城驛は近來乘降客の激增に伴ない從來の儘にては狹隘を感じつゝあるを以て今回改築する事となり既に工事に著手したるが工費三萬一千圓にて明年五月落成すべし

◎前田大佐歸任期

北鮮地方視察中の警務總監部高等警察課長前田昇氏は來る廿六七日頃歸任す可し

人事消息

▲河原氏(三井合名會社理事) 廿四日夜入京朝鮮ホテルへ

▲米田梅吉氏(同常務取締) 同上

▲石塚英藏氏(東拓總裁) 同上

▲管野盛次郎氏(東亞煙草會社長) 同上巴城館へ

▲平野亮平氏(殖銀局參事) 同上

▲大內暢三氏(福岡縣選出代議士) 同上山本へ

▲大中春光氏(東洋製鐵社員) 二十四日退京

▲藤原長晉氏(東京米穀商) 同上

▲小田雪作氏(哈爾賓日本總領事館員) 同上

▲京都高等商業學校生徒觀察團一行六十五名は二十五日午後七時二十五分釜山より入京南大門前の金館に投宿

▲久保京管局長 風邪の爲め引籠中なりしも既に全快出社し居れり

▲井內鮮銀調査局長 二十五日南大門驛發列車にて東上

◇鳥瞰 組◇

露國では革命以來獨帝の裔を筆頭に廢帝時代の名家は大概捕縛されたり暗殺されたりして昔年に威張つて居る人は殆んどないと云ふて宜敷位である▲處がここに不思議にも兎に角露帝時代より其儘依然として其勢力位に居る一人が在る▲と丈け云つても分らないだらうが其は露國東清鐵道長官ホルワット君である▲露都や莫斯科で彼の浦鹽返りの大騷動を西伯利の一隅から斜に睨んで居たホルワット君には未だ何の變動も起らぬ▲第一革命騷動で前露國の大官や名家は大概處分せられて仕舞つたと思ふと次にはケレンスキーが倒れた▲而して今度は過激派に睨まれたケレンスキー一味の者は大概牢に放り込まれた▲けれどもホルワット君は依然として東清鐵道長官として威張つて居た▲夫から間もなく過激派が西伯利に侵入して來て妙な政府が雨後の筍の樣に各所に簇立した▲ホルワット君も御多分に漏れずホルワット政府を立して而して浦鹽政府に反旗を飜した▲處が大分浦鹽政府から睨まれたが兎に角大膽にも一ミ談判に浦鹽に乘込んだ▲其處で哈爾賓に居る各國外交官連中は如何にホルワット君の運が強くつても今度こそ單身敵地同樣な浦鹽へ乘り込んだからマア年貢の收め時だらうと評判して居た▲が案ぞ知らん御本人のホルワット君は今度はオムスク政府閣員の候補者と云ふ大した勢ひで久し振に浦鹽から哈爾賓に歸つて來た▲流石各國の領事團もこれには一方ならず驚いた▲斯うなつて見ると兎角の非難はあるがホルワット君も亦一箇の露國屈指の一大人物たる事を失はぬ譯だ

◎間島の土地熱

……るに至れり就中變動の大なるは龍井商埠內にて從來空地の空所も鮮人家屋地化することゝいふ有樣なるより地價の變動期に投じたる……れを放すといふ狀態にあれば鮮地に蟠りて數千圓を占め得々たる……小成金の徒を輩出し空拳の徒が土地を……からざる現象にして最新地の如き日本の約六反七畝が……らざるが此處三年來地價の向上に激すること實は從後の變動大なるを知るべきなり(間島)

婦人家庭雜誌

本誌獨特高尙優美の物語

理想に殉じた若き母の死……鳩山春子

理想的夫婦と自惚したオ子佳人の家庭が、一朝夫君の遊蕩により破鏡の悲劇を演じ、佳人は其の理想に殉じて自ら死を撰びて阿兒の命を棄てた孤兒となりし其の兒の爲めに其の母の遺言を守りて育英せしは眞に讀者の同情をそゝぐ爲めの悲しき絶的な事實の物語

北海に沈む婚禮の晴衣　法學博士 和田垣謙三

頃は明治四十五年四月十五日、世界一の巨船が北海に沈んだそれに伴ふ悲話哀話の數々、余は其悲報を巴里の客舍で知つた。余ら來に和して之を唱つたが、唱ふ毎に涙の滲されたを祝ふ老博士の淚を誘はずには措かぬ

內容の特色本號發行せ十一月號

◎僅三日間に二見を失つた若き母の悲み……百合子
◎母子の入水……鴨村生
◎谷間の姫百合……外濱
◎凹山夫人……市村六朗
◎季節向料理……雪子
◎月收十圓の素人副業……
◎タイピスト……
◎物の安價な副……
◎姿を良く見せる衣物の方……
◎病氣に合せたお料理……
◎銀行の利用法……
◎ヴイオリン……
◎遲紅熱……
◎齒科醫……
◎こしけの話……
◎主婦の健康法……
◎我子の金錢敎育……
◎新葉集摘釋……
◎外國文學……

特別號(一冊ふくむ)……定價一冊二十錢

牛込區築地町拾三番地 婦人家庭雜誌社 振替東京四二七九二番

雜誌界の壯觀 新進兩作家同時に執筆

長篇小說 故鄕へ沈む日　野村愛生

大阪朝日懸賞小說『明けゆく路』著者

長篇小說 傷める葦　沖野岩三郎

大阪朝日新聞懸賞小說一等『宿命』作者

◎臺灣の福音　天野爲之

菊版洋裝 再版發行 蕃薯風俗全集完成

第二回會員募集 直接御申込に限る……

東京市麴町區飯田町五ノ八 平田學會事務所

鑛物分析及鑛床調査

京城太平通二ノ二三六 電話長二八二三番 松永分析所

再製鹽・原鹽

右兩鹽共潤澤格安に御取引仕候間多少に不拘御注文被成下度願上候

龍山元町四丁目 龍山製鹽所 電話四〇七番

肺病を全治した實驗

好評忽五版

東京神田區 家庭研究會

米豆調製用具

唐箕・萬石・稻扱

品質本位製作

京城南大門通 戶田春藏本店 長電話三八六番 振替京城三七五番

株式安價買入方法

株式賣買指導雜誌 投機社新案

株式を時價三割出金で買入方法 確實安全投資法(最低貳割配當保證)

東京日本橋區南茅場町四拾壹番地 柘木屋株式店

新製毛綿の需用期來る

毛綿は普通綿より輕量にして保溫力に富み然かも價格低廉なる事は既に世の定評あり目下當社は露西亞よりの注文品製造に忙殺されつゝある盛況に付此際至急多少に不拘御用命被下度候

京城府靑葉町 朝鮮製綿株式會社 (電話一六五番)

コールタール

東京瓦斯會社特約販賣 龍山漢江通九 電話四九一番 金物商 島田忠作商店

[illegible]國となりつゝあるが過般來オムスクより哈爾賓市聯方面へ出向し同地在留の列國外交團と種々意志の[illegible]ブフリノフ陸相は當初首相と共に

▲浦鹽に赴かん とせしも果さず全露假政府の創立事務に[illegible]及び交通部のステパノフ糧食部のゼフィロフ等列車内に參集し種々會議を開きたる由其内容は不明な[illegible]ては最近デルベル一派の暗中飛躍もありまた政府部內には各種の人物を網羅せること〻て西伯利統一[illegible]るは軍隊を有せざることにしてホルワット長官との間には了解を得たれどもホルワットは入閣の條件[illegible]も何分武器缺乏し聯合與國よりの供給方を懇望し居れりと（東京）

[illegible]間島は其前年氣候晴らしく爲めに地價の向上氣配を誘致せしめ昨年に比して地價の騰上著しきを見[illegible]年に比し數倍の地價を稱し鮮人間の土地買占に行はるが故に土地及び家屋の轉賣朝夕を測り難く之[illegible]人側に見られ內地人は[illegible]に觀望しつゝあるも土地熱の風靡は押へ難く暗中飛躍を試むるものなきにあらず是れを要するに間島[illegible]赤見る能はざるに至れり尤も是は上耕地の部にして山間の僻地は一晌地五圓乃至十圓の賣所なきにあ[illegible]

◇馬を黑龍江に飲ふ　ブラゴエシチエンスク埠頭に於けるわが第七師團の騎兵、岸なるは哥薩克兵（金谷從軍記者撮影）

○某軍の無理難題
セミヨノフ軍に客車を要求し我軍の一喝で縮み上る
從軍記者　早川磐溪

聯合出兵のお招伴役と言ふ格で我日本軍の後から黑龍線に乘込み到る處で花環を贈られて得意がり、鞘ばかり氣にして鈍刀をあて陣中

★色男がる 事と雖がらせをするので有名な某軍は滿洲里を經て十一日チタに到着したが滿洲里ではセミヨノフ軍の將校に對して、客車を提供すべく要求したが、車輛は何處でも缺乏してゐる事とて、體よく要求を卻けると、今度は

★威猛高に なり、停車場を包圍して强硬の態度を示した。セミヨノフ軍は周章措く所を知らず、急を我七師團司令部に報じて來たので、某參謀大尉が調停すべく驅けつけると、某兵は吾け觸にて某大尉を包圍し威嚇的口調を弄したので

★事不穩と 見て取つた某將校は二個中隊の兵を提げて某軍に相對し武力に訴へるならば訴へよと强硬に出たので流石の某軍も急に鼻先を折られ結局客車一輛の貸與を受けてチタに向つて來たチタ驛に於ても某兵は之にも懲りず頗る

★横柄に構 へて居たとか某軍は同日直ちにイルクック方面に向つたが目的地は莫斯科？目的は？色男揃ひの某軍は到る處で持てる事でござらう

▽過激派の殘黨四名
軍用電線切斷中逮捕せらる

齊多市附近にはまだ過激派の殘黨が潜んで時々軍用電線を切斷するので我第三師團及びセミヨノフ軍では極力之れが掃滅を期し警戒中の處十日夜除チタを距る四里餘の西方モクゾン村落で電線切斷中の過激派兵四名をセ軍の手に依つて捕へ直ちに獄に投じたが彼等は齊多沒落と同時に附近の農家に匿まはれて居たもので、農民は何れも過激派兵に同情するものが多く到る處に潜伏しつゝある

○藤公十年祭
正一位に陞叙　二十六日執行

伊藤博文公が渡歐の途中ハルビンに於て兇徒の狙擊を受けて薨去せしは明治四十二年十月二十六日にて大森の公爵邸にて此日を記念とし每年祭典を行ひ來りしが二十六日は恰も十周年に當るより當日午前八時より祭典を擧行の筈なるが同時に畏き邊より御使を御差遣あらせられ正一位を贈らるゝやに洩れ承はる

○二松學舍が單科大學に
漢學を主とし　中洲翁自經營

三島中洲翁經營の麹町二松學舍は今回大學組織に改むるに決し文部省に出願中なり大學は單科にて漢文を主とし教育學、英語其他の必要學科を加へ二松大學と稱し中洲翁自ら督學の名義にて監督經營し翁の第三子復氏を學長に推し學生三百名を收容する筈校舍は五萬圓の豫算を以て新築すべく來春三月起工の由なり（東京電話）

○某國兵濫りに我書狀を開封す
浦鹽の怪事

▲獨探取締 を名とし浦鹽で非信の檢閱を行ふ秘密團體がある事は既報したが是はその後某國兵の所爲と判つた、現にこの十九日も敦賀行きのペンザ號が浦鹽を出發せんとした時二十名ばかりの某國兵がづかづかとやつて來て旅客の持つてゐた日本行の書狀を片つ端から開封して檢閱したその中には出征軍人から故鄕の

▲妻子へ送 る懐しい消息も澤山あつた相だ、聯合軍司令部の御用商人太刀川組、店員某は大谷司令官から中島正武少將宛の手紙を託されて鞄の中へ納めて置いた所件の某國兵は是を見付出すやあはや是をも開封しようとした、が折好くも其處へ司令部の某將校が來合せイキナリ『是は貴樣等の手に觸れるものではない』と

▲一喝を喰 はした爲め彼等も辟易し終に開封し得なかつた相だが實に不法千萬であると何れも憤慨して居たと云ふ

○海軍職工を軍屬に
動搖を防ぎ自制力を向上せしむる爲　吳海軍職工は加給八割五分

◇海軍 に使用する職工の動搖は其製作品に多大なる惡影響を及ぼすこと云ふ迄もなければ其動搖を防ぐべくまた一つには自制力を向上せしむべく職工を軍屬と爲し若し利潤ある時は軍法會議に附すべく目下其調査中なる由なるが多分

◇實現 するに至るべし又吳海工廠にては曩に職工に對し四割の手當を支給する事にせしが更に其成績により一割五分より二割五分の特別手當を支給する事となれるを以て二時間殘業を平均にして計算すれば八割五分の加給となり殊に吳

◇工廠 にては四時間殘業を主として居れば日給一圓の者は二圓廿錢を得る譯となり一箇月六十六圓を取る事となれり（吳）

○惡性感冒（インフルエンザ）に惱む人
本町署管內だけで四千五百人に達す
…學校では日の出が筆頭

流行性感冒は益猛威を加へつゝあるが二十三日の本町警察署の調査によれば現在罹病者數實に四千五百餘名の多數に迫んで居る、之に鍾路警察署の調査を合算すれば驚くべき數字を示すであらう、今本町署の調査に成れる二十三日現在の罹病者を內別すれば

▲各開業醫 の治療を受けつゝある者合計二千九百七十七人、本町署管內各學校に千三百六十三人其內櫻井小學校百九十三、日の出小學校二百二十八、南大門小學校二十八、西大門小學校百八十三、東大門小學校百一、京城高等女學校百十六、南山町幼稚園四十二、貞洞普通學校百六十二、仁峴普通學校二十九、於洞普通學校十二、茶洞普通學校十、龍山中學校四十三、水下洞普通學校十六の患者を出してゐる

▲會社銀行 工場の方では東洋煙草太平通分工場四十三、龍山精米所二十三、朝鮮郵船會社四、朝鮮銀行四十五、百三十銀行六、第一銀行四、京城銀行五、十八銀行三、京城精米所二、京城電氣會社五十合計百八十八名の患者である、それから十三日から二十一日迄の公立各小學校生徒の缺席比較表を見るに內地人小學校に於ては十三日四百七十二、十四日六百二十四、十五日八百十、十六日千六百十六、十七日千六百三十四、十九日千七百九、二十一日千八百七十七名と云ふ數を示してゐる

▲普通學校 の方では十二日百九十五、十四日二百四十三、十五日二百六十五、十六日二百六十三、十八日三百十四、十九日三百四十二、二十一日四百六十六名で何れも逐日激增の兆を示して居る、同署に於ては引續き調査中であるが兎に角此の數字を見ただけでも脅かされる

○內職展覽會
一日二圓の內職もある

東京本所の三笠尋常小學校では內職奬勵の目的で內職展覽會を開いたが是について井上同校長は斯う語つて居る『陳列品數は約百五十種で行觸れた紙袋貼からメリヤス類足袋金具竹細工ボール函玩具です又割合に工賃の高いものは半襟洋傘屈指敷靴下等の簡單な縫取で靴下の如きは盛んに輸出するので最も工賃が高く十日間以上も續けると一日二圓內外の工賃が取れます此他陸軍の肩章作りや下駄の爪掛又は紙文庫製作なども非常に割合の善い內職であります』

○愛馬熱で馬が減る
一朝有事の際は何うするか

近時我國に於ける愛馬熱乘馬熱は甚だ旺んとなつた、然も日本現在の馬匹は年々其の數を減じつゝあるは將來

◇國防上に 非常の困難を來たしはせぬかと憂慮されて居る、右に就き陸軍某將校は語る＝千八百六十六年の普墺戰爭の時は動員人數百三十萬に對して馬匹は廿五萬頭であつた、普佛戰爭の時は馬一頭に對し人五人半の率となつて居た即ち此の動員數三百十六萬人に對する馬匹五十五萬頭である日露戰爭の時我日本軍は百萬の兵を動かしたが馬匹は十七萬頭人百人に對し馬十七頭であつた然らば現在の

◇歐洲戰爭 はどうかと云ふと動員數千七百萬人に對して馬匹實に五百二十九萬頭—馬一に對し人三の割合になつて居る、國家有事の秋、如何に馬の必要であるか、此の數字に據つて判明する、のみならず運輸機關として自動車の使用も結構であるが今度の歐洲戰爭に於てすら最初の程こそ大砲其他の輸送に自動車が使用されたが第二期に入つてからは自動車の實際の用を爲さぬと云ふ理由の下に大部分は

◇馬の力を 賴む事となつた、而して日本現在の馬匹數が減じて行く大理由は東北地方の主産地でも馬を飼ふ爲の原野を開墾してゐるより其の原野が遂に儲けが多いと云ふ經濟的理由に外ならぬ、更に一つの原因は馬を買ふ大得意先は從來殆ど陸軍のみであつたのが物價の騰貴と民間富豪家中に愛馬熱が勃興して馬の値が次第に高くなつたにも拘らず陸軍の購入價格が依然安いので

◇大得意先 の陸軍から除りアテにせぬやうになつたといふこともある要するに需要者はあつても經濟上供給者が手を控へる譯で此の狀態が永く持續されることなると一朝國家有事の場合從來の經驗に徴して寒心すべき事になりはせぬかと思ふ、日露戰役の末期新に軍馬の缺乏を來したのは世間周知の事實で滿洲から數萬頭を臨時入して辛くも持ち堪へたのであつた、此の意味に於て苟くも國防を口にする人々は官民共に馬匹と云ふ一事を

◇深く念頭 に置いて貰ひたい序に言ふが陸軍の要する馬の數は騎兵一に對し輜重用馬十三乘馬三と云ふの比例であつて決して僅少な數ではないのである

▲女子出札係募集 南大門驛にては女子出札係を募集中なるが希望者は同驛長宛履歷書を差出すべし

演藝

▲毒煙 大正館にては二十五日から全部差替にて「セーロン」の古跡」活劇「腕の狂氣」人情活劇「胸の氣狂」新派悲劇「毒煙」等を映寫する「毒煙」のヒロイン高山市の令孃玉枝は有名の發明家平沼欣也と婚約の間であつたが玉枝の父は欣也に取つては親の仇であつた、のみならず其の父は欣也の發明を横取りしようとした玉枝は是を知つて國家の爲めに又戀人の爲めに件の發明品を爆破して惡人一味と共に最後を遂げると云ふ悲惨なる物語りである

▲有樂館 二十五日より實寫「米軍の[illegible]」人情劇「他の手」新派「少年生活」活劇[illegible]等の上場すべく「少年生活」「民代の[illegible]」は時節柄在場者の血を沸すべく[illegible]

○幽屋殺しの情婦
忠信の秘密（十二）
入院料を踏んで退院
丸尾の妻は忠信と一緒に神戸で藝者
大田は戀の痼疾を抱いて歸國した！
忠信の正體は斯くの通り

退院する迄
一月餘の入院の費用は如何にして作られたか

一箇月に餘る忠信の病院生活が如何な風に過ごされたかは略前掲の通りである。彼女の費用萬端は勿論都野川の懐から出たが前に掲げたやうな種々な問答や事情の爲めに都野川も全部の拂ひを済ませてやる譯には行かなかつた。そこで金に窮した場合は看護婦の衣類であれ自分の物であれ質に打込んで居たが、こんな時の入質の役目は大抵太田種造が仰せ付かつて居た。丸尾は當時厩浦に或工場を設計中でゝまり金が廻らなかつたらしく女も亦丸尾には無心を言ふこともなかつたらしかつた。

南山へ花見
退院の晩は都野川と手を取つて南山へ花見に

連翹、李、櫻の花が一時に咲いて京城の春は絢爛の裝ひを凝らした時分であつた。忠信は百圓許りの入院料を未拂ひのまゝで兎も角も退院することゝなつた。そして退院の一夜は都野川と手を取つて南山の櫻見物と洒落れた。之で記者が讀者諸君に前提して置いた約束は不完全乍ら描き上げた。然し讀者諸君の頭には丸尾と忠信が何故夫婦の約束をせずに都野川に株を讓つたか太田は其後如何なつたかの二つの疑問が殘つて居るであらう

殘る疑問は
丸尾は何故忠信を都野川に讓つたか太田は？

丸尾がそれほど忠信と深い關係にあり乍ら何故都野川と忠信の夫婦約束を默認したかと云ふに彼れには既に妻がある、然も其妻は神戸で忠信と一所に藝妓をしてゐた女であつた。此事實を知れば丸尾と忠信の關係は全く輸入と云ふ程度に止めて置かなければならないと云ふ解釋がつく。太田はツイ先頃迄痛ましい戀の痼疾を抱き乍ら忠信から旅費を貰つて鄕里に歸つて行つた。茲で丸尾と太田の二人は此の筋書の中から省かねばならぬ。

一度は絶緣
都野川は兇行前に忠信から絶緣を迫られた

其後八日頃都野川は流石に自分の亂行を恥て忠信と關係を絶つたことがあつた、併し一度忠信の妖術に懸つた都野川は到底彼女の爲めに命までも捨なければならない運命に呪はれて居た、都野川が折角大勇猛心を揮つて忠信の手から脱れはしたが、すぐ其後忠信から、貴方が見捨てるなら生き甲斐がないから首を縊つて死ぬと威嚇されて忽ち決心の臍は戻つて了つた。そして都野川が兇行前或料亭で忠信が頻りに身受けを強請し、意氣地なしの何のと罵つて胴喝するかと思へば男の膝に突俯して泣いたりしたことが度々あつた。

罪の償は？
二人の頭上には如何な刑罰が下されるか

斯くて兩人の關係は都野川の兇行後數日の後まで續いた。聽く人心を震駭せしめた帝國都野川の背後には斯んな女が附いて居たのだ！法廷に立つた兩人が如何に罪を宣告せらるゝか……忠信の秘密はまだ〳〵盡きない、然し事豫審に關するを以て之以上書くことを憚る（完）

黴毒淋病で當惑する人に
帝國醫科大學特命製劑者たりし赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は效力卓絶にして在來行はるゝ自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善良法なり
無代進呈　ハガキに必ず病名を記して御照會あれば彩色圖入の詳細說明書非賣品を直に秘密に差上ます
東京市本所向島小梅町二三　東京藥化學研究所

有用鑛物標本　鑛業家參考用
京城本町一丁目廿一番地　鑛産物研究所　振替大阪八一八六番

濟生堂　鍼灸療院　藤井百太郎

胃腸病婦人病專門　入院隨意
治療時間午前九時より午後五時限　治療人員一〇五十名限り

羽二重御紋付　仙臺　藤崎呉服店　流行新柄セル御袴　▲見本進呈　振替口座東京一七九〇番

定價表進呈　中村眼鏡店　京城本町　電話壹壹壹七番・振替京城三四六番

入札拂下　京城府仁義洞百十二番地　一建物　大正七年十二月二十五日　朝鮮總督府
物品賣却取消　大正七年十二月廿二日　南滿洲鐵道株式會社　京城管理局
新派大悲劇　日活會社空前の大作　毒煙　全百八十八場　十二月二十五日より　大正館　忍術破りの大活劇　舊劇後藤又一郎
京日案內
帳場雇入たし　大桝
代診看護婦入用　池上醫院
年金恩給　江州屋本店
ほねつぎ　柔術道場
恩給立替　西村商會
砂金高價買入　中村分析所
舊恩給　博多屋本店
オキシパサー
倉人募集　齋藤酒造會社
店員募集

產科婦人科　二宮醫院　京城壽町　電話一二〇一番　醫學士　二宮亮吉

原料香水　オリヂナル
日本で一番良い香水は是れです
本舖東京　安藤井筒堂

新荷到着　カーバイド
破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候
京城南大門通五丁目八番地　洶木村商會　電話長一六三四番

◎急告　全鮮を襲へる流行性感冒と飛んで賣れ行く……AG三分計體溫器
御用先　大學病院　赤十字病院　陸軍病院　傳染病研究所　東京衛生課
滿鮮總代理店　京城日報社代理部

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千參百參拾萬圓
總預金　貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎

母と子（三）

北島春石作　森田久畫

背暗（三）

これが天の助けとでも云ふのか潜戸の扉から身を忍ばせる便となつて、不思議に二人から發見されずに濟んだ志保子は、今しも坂内へ引返したお葉が、急に慄々しい金切聲を振絞つたので、愕然とばかりに胸を打たれて立竦む。そして、怖々ながら黒塀の節穴から差覗くと、お葉は物凄じい権幕で、幸枝の襟首を掴んで手許に引寄せ

い。眞の父とは一つ邸で起臥しを倶にはすれど、腹ちがひの弟にのみ愛が傾いて、少しも憐れみをかけて貰へず、この三年あまりを、何うしても年齢よりはませた縦しい母から睨み通しにされたの態度。それが、平素から癪に觸つてならなく、さうした歸りぐらゐでは、何うしてお葉が憎惡を晴らさうか。

『噓をお吐き！お前なんかの口先

かり。

『ちやゝ、何うしても白狀されないんだね。』と、肩先を掴んで引起したと見れば、その貌、黒惡の出來るほどにキュッと捻りあげたのだ

『ほんとに、こんな強情ばりも珍らしい！やつぱり母親の血を受けたのは爭はれないものさ。だが、誰にも頼まれないとなら仕方ないがお前はね、今こゝで佐久間の叔父さんとお母さんと話してゐた事をお聞きだらう、ねえ。』

『いゝえ、ちつとも存じません……』

『相變らず知らぬ存ぜぬの一點張かい。』と、惡々しさと劫腹さとが混線して、お葉は激しい憎惡に眼を輝かした『世間から繼兒いぢめをすると言はれるのが可厭さに優しい言葉をかければ好い氣になつて増長る！もう、今夜ばかりは赦さない。さあ、強情が張れるならいくらでも張通して御覧、白狀されるやうにして泥を吐かせてやるから……その時になつて謝つても承知するものか。』

『あれ！お母さん。』

堪忍してと詫する隙もあらず、お葉は幸枝の頰を續け打ちに打据ゑる慘たらしさ。

それを黒塀の外から差覗いてゐた志保子は、心臓を刳り出されるよりも一入の苦しみ。今は他目を忍ぶ身も打忘れ、彼の潜戸を押し破つて馳入らんとする時、何者とも知れず突當つてたぢくとた。

出逢ひ頭の不意打を喰つたが怯氣ともせず、悠然と構へ込んで立止まつた男は、暫時のうちに凝然と瞳を据ゑたが、

『お、貴女は志保子さんでないか。』と始めて驚きの聲を放つ。

たところ。

幸枝は元よりおろくと涙。

『あれ！お母さん勘忍して……勘忍してくださいまし。』

『何を勘忍してと云ふんだい、わたしや未だ別に叱りやしないんだらう。』と、邪慳に小突廻して『もう夕飯だと云ふのに、あの薫の面倒も見ないで、こんな庭先にうろくしてるのは、乾度誰かに頼まれてお母さんの動靜を探りに來たんだらう。』

『いゝえ、わたしは何にも存じません……たゞあの薫さんがお見えなんを探してますから、多分此方だらうとお迎へにまゐつたのでございます。』

未だ數へ年の九つながら、幸枝の言葉には一筋のみだれも見ゑな

に丸められて堪るもんかね。』と、いきなり大地へ突伏せた『さあ、誰に頼まれて動靜を探らうとしたのか、眞直に白狀しないと、また毎度のやう痛い目に遭はせるから。』

『でも、わたしは……あのわたしは……何にも存じませんもの。』

突倒されたまゝ、起きもやらず、幸枝は袖を嚙緊めて忍び音を。悠うした折に、心ゆくがまゝに聲をあけて泣きでもしやうものなら、お葉はますく激しく折檻するのが習慣。それをよく悟つてゐるので、小さい胸も張裂けるばかりの悲しさを忍ぶ憐れさ。嘸へ鬼や蛇にしろ、人の皮を被つてゐたら不愍に感じさうなものだが、お葉の心には却つて小憎らしさを増すばかり

子供を叱る

▽前によく▽考へよ

子供を叱る事は一つの立派な教育ですから此上もない困しいものです。殊に大概の親が子供を叱る時の心持は決して正しいとは言はれません、然ればルーテルは若し常々正しく子供を叱る事の出來る人があれば夫れこそ理想の父母であり兄姉であり教育家であると云つて居ります子供を教ふる爲に右手に

◇**鞭を** 左手に林檎を持つと申ますが兎角厳格と云ふ事を突き違へたがるものです、親が子供を叱る時の場合を申しますのに先づ『怒り叱り』と云ふのがありますこれは親が先立つてむきになり相手が子供である事も忘れて眞赤になつて怒るのです

◇**次に** は機嫌かへ叱りと云つて親自身の機嫌によつて叱る事です機嫌のよい時は別に叱らなかつたので子供は安心して居ると二度目にはそれを大變に叱られると云ふやうに親の機嫌如何で叱られたり叱られなかつたりするのです又次には無理叱りと云ふのがあります例へば子供に無理な使ひをさせたり又出來得ない事を强てそれで思ふやうに出來ぬと云つて叱るのですそれから無茶叱りと云ふのもあります、是は無理叱りと同じやうですが畢竟子供が一つの

◇**悪戯** をしたのを無茶に叱る場合があります、これは親の無智無學の爲で子供の本性と心理を知らないからです、子供の悪戯は年齢の本能に基くもので大人の悪戯とは全く違ふのです、それを無學な母親等は無邪氣な自然の戯を夢中で怒つて子供のくせにと口癖に云ひますが、一體子供は悪戯である筈で又子供であればこそするのです、次には無實叱りと云ふのがあります、これは子供に對して大人の

◇**疑ひ** 深い猜疑心から子供を疑ふ爲めです、この時の叱り方はとけくしいものです、叱る者は臆事も判事も一人で兼ねてゐて而も子供には辯護士が無いのですからたまつたものではありませんこんなわけで叱る時の心は非常に大切なものですから親自身は叱ると同時に自分でも又大いに反省しなければならぬと共に又謙遜の心でなければなりません

流行性感冒

平壤丈で聽て五千人に達せんとす

醫者が患者に早替　何處も彼處も病人だらけ

滿洲感冒とか成金感冒とか稱する流行性風邪が我平壤を襲撃したのは九月中旬頃であつたが本月中旬頃より益猖獗を極め屢々報道するが如く各戸殆ど之に冐されぬ者がない、甚しいのは一家全滅と云ふ姿で家族一同枕を並べ藥を飲んで治療を加へてゐる抔随分悲慘な家もある、尤も本流行病には豫防の方法が無いから甲がかゝれば乙への傳染は瞬時である、それが悉め一夜に一家族全部を襲ふことが往々あるので少しも油斷が出來ない、平壤署に於ても日夜發生患者の數を調査してゐるが二十二日中までに平壤市中のみで内鮮人が二千百六十餘名の多きに達しそれに軍隊と監獄を加へると三千餘名の患者である、のみならず愈々猖獗の度を增ね刻一刻と蔓延しつゝあるから此調子で進めば本月中には五千名を超すのは何でもなからうと心配してゐる、殊に未だ風の神の襲撃を受けないと誇つてゐた平壤中學も到頭此が渦中に陷り四十名の患者を出した、それから本職の慈惠醫院も大河内院長を始め醫官が三名看護婦が四名罹つた、其他常々元氣旺盛な福田憲兵分隊長もお見舞を受けた相な、兎に角各自に就て充分の養生をして病魔を驅逐しなければならない

讀者の領分

▲總督府醫院内科部に於ける流行感冒の猖獗は[illegible]を全滅せし[illegible]め殆に閉鎖迄[illegible]はるもに至り患者の[illegible]困却想像の外也此際滋納者の[illegible]さして處法三三を新聞紙上に公表して一時の急を救はれたし（大阪口生）▲諭者の御趣旨御伺ひ致し[illegible]六條但し書き外國語中には朝鮮語は如何に候哉もし可させば鮮人にも適用せられ候哉御返事乞（[illegible]生）▲[illegible]社、懸賞文藝中俳句選者自他選と有之候先生の御姓名及び年齢住所何卒御知らせ[illegible]倘先生は現在他新聞何雑誌の俳句の選者をなされ居り候哉も御伺ひ申候（[illegible]田數思）▲新作何れにも應しません數年前迄三四年間本紙俳壇の選者をして居りました御用件があれば本社内白雨迄（記者）▲一女事務員さんよ判ります（當人）▲[illegible]貴醜の鐘朝の御立腹は御尤も千萬と思ひ同情を寄せて居る一人です而し貴郎が今少し物わかり良く[illegible]るならば[illegible]か御立腹も至[illegible]ると思ひます即ち相互に教育ある目を受けつゝあるものが我々如きものを見て斯様なる態動をなすとは實になさけない否憐むべきものだと反つて先方の[illegible]かな心を持つて居る[illegible]な自分の心に問ひ思すれば立腹[illegible]はないと思ひます時は取り様一つで惡にもなり善にもなるものなる故に●は善意に解決して西洋の諺にある如く『沈默は最良の方法也』を實行は如何實行を望む（菊子）▲東大門學校開校以來[illegible]校に通學の生徒にして登校又は下校の途次他人の桃菜又は土堺等に無斷に侵入し又は竹片木片にて窃かに穴を引きて之を毀傷するもの多し是等の悪戯は[illegible]け生徒其人は或は無意にして不知不識の所爲なすものなるかも知れずと雖ども先生の教訓は父兄其他の教育に勝ること萬々なるを以て折りに觸れ時に臨んで一般生徒に所る悪戯をなさぬやう訓戒を與へられんことを教員諸君に切望す（東大門居住者）

米絹織物制限

生絲大影響せん

[illegible]米國政府が[illegible]所なるが[illegible]なる[illegible]

▲**生産短縮** を命じ其中絹織物も含有されありとの説傳へられたるが更に二十一日午後横濱生絲田原吉氏曰く『本店には之に關し未だ何等の情報到着せざるも右制限說は全く[illegible]一時ならず風說され

ありとに就き原合名會社支配人渡邊至れりと雖も夫以上に大襲の生產制限を加ふることは

▲**到底不可能** なるべし毛織物は必要缺く可らざるものとなり居るを以てなり況んや機業は他の工場と組織を異にし直ちに之を軍需工業に利用すると困難なる[illegible]なるを以て是が原料たる我生絲[illegible]一に切り詰むることは取も直さず七割五分丈けの大制限を加へらるるの生產を四分の一に切り詰むることは取も直さず七割五分丈けの大制限を加へらるる[illegible]

絹織の生產

を四分の一に切り詰むることは取も直さず七割五分丈けの大制限を加へらるる[illegible]用絹織物に取りては却つて好影響なるべしといふ者あれども米國政府が既に生產制限を爲せる以上は内地生產保護の意味に於て我國の制限問題は吾々當業者として誠に憂慮に堪へざる所なり（東京）

下關期米

[illegible]

仁川期米

▲二十四日後場[illegible]大阪前場[illegible]の入電は[illegible]先限に二十一圓九十八錢[illegible]二十七錢の下げ[illegible]これに[illegible]二十六圓五十錢[illegible]

▲後場中限出來不申▲先限一節二十六圓五十錢六十錢五十五錢九十錢二十錢九十錢六十五錢[illegible]

仁川大豆取引

[illegible]一二十四[illegible]二十六[illegible]五十錢[illegible]月限[illegible]

各種石鹼製造元
生田組石鹼工場
京城元町一丁目（電話龍山三六番）

最新刊
告　書名　著者　價　送
成金　衛岡本　一六〇　二
投資と利殖　安田　一二〇　六
△滿蒙遊記 行け大陸へ　眞継　一二〇　六
學國一家論　稲田　九五　六
金と銀　金谷　一二五　六
模範和文英譯　齋藤　九〇　六
◇機械工學に關する原書新到着
近世美術　木村　二五〇　六
戰後の事業　山路　二〇〇　八
修養日本畫の描き方　二〇〇　八
日訓牛の涎　[illegible]
△お産と育兒　吉岡彌生　一〇〇　六
縮刷漱石文集　一〇〇　六
日本歴史　一〇〇　六
日本の話　船田　一〇〇　六
新らしい言葉の字引　八五　八
京城本町　大阪屋號　電話六〇四番 振替京城二五七三番

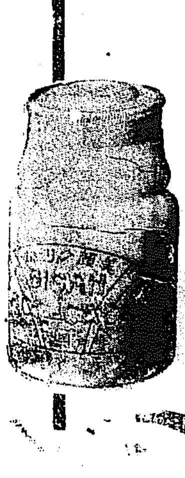
秋の風引には
大學病院　撲範方劑
KAZEPIRIN
解熱　完全　東京風劑　カゼピリン
讃劑庭齋有効保證
本舗　東京市[illegible]　淺野樂天堂藥局
鮮滿無量の特約店にて販賣す

名刺　京城　太平堂　電話一七二二番　振京一三六七番

京城の名物（京城南大門通三）
カフエータイガーの洋食とすき燒

赤毛の染　ナイス
色も艶も申分ないきらが染はナイスが第一
ナイス五大特長
▲僅二十分で染る
▲永く保ち醜ず剝げず
▲艶々と黒く美しく
▲襟枕に浸着せず
▲用法至極簡易
價　壹圓・貳圓・參圓
發賣　大阪 東京　丹平商會
全國到處化粧品店にあり

光榮ある御化粧料
三十六種の内
美顔クリーム



定價一瓶二十五錢

一、御内意により創製したる品
美顔クリームは素と美顔洗粉と共に、或る尊貴の御係から御内意を蒙つて創製したクリームであります。

二、二つの特色
色の白い事と、質の輕い事とは、この新しいクリームの二つの特色であつて、舶來品にも勝ると言はれる點であります。

三、ホンに理想のクリームとはこんなもの
普通のクリームには多少ネバリ氣があるものですが原料から違つてゐる美顔クリームには殆んどネバリ氣が無く、さらくとして附けた後の氣持のよいこと、ホンに理想のクリームとはこんなものかとお思ひになります。それに配合の妙を極めた芳香は、百花の園に遊ぶが如き思あらしめます。

四、桃谷研究試驗所自慢の製品
從來クリームをお用ひになつてゐる方であれば、一度お使ひになつても成程これは、良いクリームであると、ハツキリお分りになります。

■美顔クリームの用法
(一)素顔の美　素顔の美を養ふ第一の必要品として、歐米各國では、精良なクリームが盛に用ひられてゐます。入浴、洗面後、美顔クリームをお顔の地へ、よく塗込んで置くやうにすれば、皮膚を軟かにし、荒れを防ぎ、地膚を整へ、ツヤをよく、キメを好くし、素顔を美しくするに偉大な効果があります。
(二)お化粧下　お化粧下として精良なクリームの必要な事は、今更申すまでもありません。長時間のお化粧の美しさを保つには是非無くてはならぬ美顔クリームを、皆様のお化粧用にお勧め申し上げます。
(三)新化粧　美顔クリームを下地に引いて紛おしろいをはき付ける新しい美しいお化粧法をお試し遊ばせ!!

▲美顔白粉、美顔水、美顔ユーマー、白色美顔水▲美顔洗粉、美顔石鹼、美顔クリーム

發賣元　桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目
東京市麹町區有樂町一丁目
大阪市西區靱南通二丁目